

(様式第10)

厚生労働大臣 殿
開設者名 国立大学法人金沢大学長
和 田 隆 志
金大第2024 - 1110 号
令和 6 年 10 月 1 日

国立大学法人金沢大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒920-1192 石川県金沢市角間町
氏名	国立大学法人金沢大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

国立大学法人金沢大学附属病院

3 所在の場所

〒920-8641 石川県金沢市宝町13番1号
電話(076) 265 - 2000

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有		
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11リウマチ科
診療実績			
神経内科、内分泌内科、代謝内科で提供される医療は、他の診療科で提供している			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
1 呼吸器外科		2 消化器外科		3 乳腺外科		4 心臓外科	
5 血管外科		6 心臓血管外科		7 内分泌外科		8 小児外科	
診療実績							
消化器外科、心臓外科、血管外科、内分泌外科で提供される医療は、他の診療科で提供している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1 精神科		2 小児科		3 整形外科		4 脳神経外科	
5 皮膚科		6 泌尿器科		7 産婦人科		8 産科	
9 婦人科		10 眼科		11 耳鼻咽喉科		12 放射線科	
13 放射線診断科		14 放射線治療科		15 麻酔科		16 救急科	

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
1 小児歯科		2 矯正歯科		3 歯科口腔外科			
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	内分泌・代謝内科	2	腫瘍内科	3	脳神経内科	4	形成外科	5	胃腸外科
6	肝臓・胆のう・膵臓・移植外科	7	腫瘍外科	8	病理診断科	9	リハビリテーション科	10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
38				792	830

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	394	131	486.9	看護補助者	29	診療エックス線技師	0
歯科医師	14	8	20.1	理学療法士	15	臨床検査 臨床検査 衛生検査技師	61
薬剤師	53	2	54.5	作業療法士	6		2
保健師	0	0	0	視能訓練士	10		その他
助産師	24	0	24	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	888	8	892.3	臨床工学士	19	医療社会事業従事者	8
准看護師	0	0	0	栄養士	0	その他の技術員	19
歯科衛生士	2	0	2	歯科技工士	1	事務職員	130
管理栄養士	9	1	9.7	診療放射線技師	45	その他の職員	29

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	62	眼科専門医	11
外科専門医	42	耳鼻咽喉科専門医	11
精神科専門医	8	放射線科専門医	30
小児科専門医	20	脳神経外科専門医	8
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	19
泌尿器科専門医	15	麻酔科専門医	17
産婦人科専門医	14	救急科専門医	2
		合計	267

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (吉崎 智一 任命年月日 令和 6 年 4 月 1 日

令和6年度年度から医療安全管理委員会の委員長として出席している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	570.6 人	6.3 人	576.9 人
1日当たり平均外来患者数	1424.5 人	63.0 人	1487.6 人
1日当たり平均調剤数		1548.9	剤
必要医師数		143	人
必要歯科医師数		4	人
必要薬剤師数		20	人
必要(准)看護師数		340	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	22 床	心電計	有
集中治療室	462 m ²	鉄筋コンクリート	人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	347 m ²	病床数	27 床	
	[移動式の場合]	台数	17 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積		73 m ²		
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	523 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	免疫発光測定装置、全自動免疫測定装置、ディスクリット方式臨床化学自動分析装置、検体前処理装置、蛋白分画電気泳動分析装置、免疫比濁測定装置、全自動電気泳動分析装置、迅速糖尿病生理機能検査装置、迅速糖化診断生理機能検査装置、自動浸透圧分析装置、乾式臨床化学分析装置、自動化学分析装置、大腸生理機能予備検査装置、総合生理機能検査前輸血支援システム、赤血球沈降速度測定装置、汎用血液ガス分析装置、血液検査システム、呼気中13CO ₂ 分析装置、臨床検査支援システム、恒温器、血液検査装置、心疾患関連マーカー自動測定器システム、遠心機、蒸留水製造装置、尿化学分析装置、顕微鏡、精子特性分析機、マルチカラーフローサイトメトリー		
細菌検査室	111 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	血液培養装置、同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、全自動細菌検査システム、クリーンベンチ、サーマルサイクラー、結核菌迅速診断装置、マイクロチップ電気泳動システム、嫌気ワークステーション、全自動遺伝子解析システム、遺伝子解析装置、恒温器、炭酸ガス培養装置、遠心機、乾熱滅菌器、高圧滅菌器、純水製造装置、顕微鏡、質量分析装置		
病理検査室	108 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動免疫染色装置、自動固定包埋装置、自動染色装置		
病理解剖室	134 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	無影灯、解剖台、計量器		
研究室	674 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	血液ガス分析装置、マイクロプレートリーダー、超低温フリーザー、バイオハザード対象用キャビネット、遠心分離機、インキュベーター、高速タンパクプロテソミングシステム、オートクレーブ、クリーンベンチ、顕微鏡、蛍光実体顕微鏡、薬用冷凍冷蔵庫、低温冷凍庫、ドラフト		
講義室	267 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1 室	収容定員	300 人
図書室	166 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	蔵書数	4,400 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	85.7	%	逆紹介率	95.9	%
算出 根拠	A:紹介患者の数		12,047	人	
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,633	人	
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		1,025	人	
	D:初診の患者の数		15,245	人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
森岡 浩一	福井大学医学部 附属病院		医療安全管理部長として医療安全に関する業務に従事しているため	無	1
麻生 小夜	金沢あおば法律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	無	1
和田 真由美	血液疾患の患者の会 「萌の会」		「萌の会」の代表として活動しており、医療を受ける立場から意見を述べるができるため	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
本院のWebサイトに掲載している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計	0
取扱い患者数合計(人)	0人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	0人
術後のカペシタピン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法	0人
陽子線治療	0人
糞便微生物叢移植	0人
アモキシシリン、ホスホマイシン及びメロニダゾール経口投与並びに同種糞便微生物叢移植の併用療法	6人
術前のゲムシタピン静脈内投与及びナブ パクリタキセル静脈内投与の併用療法	2人
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	6
取扱い患者数の合計(人)	8人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	取扱患者数	0
当該医療技術の概要 腹膜播種陽性または腹腔細胞診陽性の胃癌症例を対象として、S-1 + パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法の安全性と有効性を評価する。			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	1
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	61	自己免疫性溶血性貧血	2
2	筋萎縮性側索硬化症	12	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5
3	脊髄性筋萎縮症	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	40
4	原発性側索硬化症	1	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
5	進行性核上性麻痺	13	65	原発性免疫不全症候群	18
6	パーキンソン病	67	66	IgA 腎症	26
7	大脳皮質基底核変性症	5	67	多発性嚢胞腎	18
8	ハンチントン病	0	68	黄色靱帯骨化症	17
9	神経有棘赤血球症	0	69	後縦靱帯骨化症	60
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	70	広範脊柱管狭窄症	3
11	重症筋無力症	81	71	特発性大腿骨頭壊死症	47
12	先天性筋無力症候群	0	72	下垂体性ADH分泌異常症	20
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	49	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	16	74	下垂体性PRL分泌亢進症	7
15	封入体筋炎	2	75	クッシング病	4
16	クロウ・深瀬症候群	1	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
17	多系統萎縮症	6	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	21
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	17	78	下垂体前葉機能低下症	65
19	ライソゾーム病	12	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	4
20	副腎白質ジストロフィー	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
21	ミトコンドリア病	5	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	8
22	もやもや病	30	82	先天性副腎低形成症	0
23	プリオン病	0	83	アジソン病	2
24	亜急性硬化性全脳炎	1	84	サルコイドーシス	88
25	進行性多巣性白質脳症	0	85	特発性間質性肺炎	48
26	HTLV-1関連脊髄症	0	86	肺動脈性肺高血圧症	21
27	特発性基底核石灰化症	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
28	全身性アミロイドーシス	48	88	慢性血栓性肺高血圧症	30
29	ウルリッヒ病	0	89	リンパ管筋腫症	5
30	遠位型ミオパチー	0	90	網膜色素変性症	8
31	ベスレムミオパチー	0	91	パッド・キアリ症候群	2
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	92	特発性門脈圧亢進症	3
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	93	原発性胆汁性胆管炎	56
34	神経線維腫症	19	94	原発性硬化性胆管炎	12
35	天疱瘡	16	95	自己免疫性肝炎	28
36	表皮水疱症	2	96	クローン病	145
37	膿疱性乾癬(汎発型)	8	97	潰瘍性大腸炎	162
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	98	好酸球性消化管疾患	3
39	中毒性表皮壊死症	0	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
40	高安動脈炎	21	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
41	巨細胞性動脈炎	12	101	腸管神経節細胞減少症	0
42	結節性多発動脈炎	17	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
43	顕微鏡的多発血管炎	21	103	CFC症候群	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	11	104	コステロ症候群	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	19	105	チャーシ症候群	1
46	悪性関節リウマチ	12	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
47	パージャー病	6	107	若年性特発性関節炎	7
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	267	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	170	110	ブラウ症候群	0
51	全身性強皮症	333	111	先天性ミオパチー	2
52	混合性結合組織病	40	112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
53	シェーグレン症候群	52	113	筋ジストロフィー	2
54	成人スチル病	26	114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	4	115	遺伝性周期性四肢麻痺	1
56	ベーチェット病	60	116	アトピー性脊髄炎	0
57	特発性拡張型心筋症	38	117	脊髄空洞症	1
58	肥大型心筋症	23	118	脊髄髄膜瘤	1

59	拘束型心筋症	0	119	アイザックス症候群	0
60	再生不良性貧血	67	120	遺伝性ジストニア	0
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
121	神経フェリチン症	0	181	クルーゾン症候群	0
122	脳表ヘモジリン沈着症	0	182	アペール症候群	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	183	ファイファー症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	185	コフィン・シリリス症候群	0
126	ペリー症候群	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	187	歌舞伎症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	188	多脾症候群	1
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	189	無脾症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	190	鯉耳腎症候群	0
131	アレキササンダー病	0	191	ウェルナー症候群	1
132	先天性核上性球麻痺	0	192	コケイン症候群	0
133	メビウス症候群	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	194	ソトス症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
136	片側巨脳症	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	197	1p36欠失症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	198	4p欠失症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	199	5p欠失症候群	0
140	ドラベ症候群	1	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	201	アンジェルマン症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	202	スミス・マジニス症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	203	22q11.2欠失症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
145	ウエスト症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
146	大田原症候群	1	206	脆弱X症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	1	207	総動脈幹遺残症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	208	修正大血管転位症	1
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	209	完全大血管転位症	0
150	環状20番染色体症候群	0	210	単心室症	1
151	ラスムッセン脳炎	0	211	左心低形成症候群	0
152	P CDH19関連症候群	0	212	三尖弁閉鎖症	2
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	215	ファロー四徴症	0
156	レット症候群	0	216	両大血管右室起始症	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	217	エプスタイン病	0
158	結節性硬化症	1	218	アルポート症候群	0
159	色素性乾皮症	0	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
160	先天性魚鱗癬	1	220	急速進行性糸球体腎炎	2
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	221	抗糸球体基底膜腎炎	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	20	222	一次性ネフローゼ症候群	24
163	特発性後天性全身性無汗症	7	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0
164	眼皮膚白皮症	0	224	紫斑病性腎炎	4
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	225	先天性腎性尿崩症	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	4
167	マルファン症候群	9	227	オスラー病	3
168	エーラス・ダンロス症候群	5	228	閉塞性細気管支炎	0
169	メンケス病	0	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0
170	オキシピタル・ホーン症候群	0	230	肺胞低換気症候群	0
171	ウィルソン病	3	231	1-アンチトリプシン欠乏症	1
172	低ホスファターゼ症	0	232	カーニー複合	0
173	VATER症候群	0	233	ウォルフラム症候群	0
174	那須・ハコラ病	0	234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0
175	ウィーバー症候群	0	235	副甲状腺機能低下症	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	236	偽性副甲状腺機能低下症	0

177	ジュベール症候群関連疾患	0	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	5
179	ウィリアムズ症候群	1	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
180	ATR-X症候群	0	240	フェニルケトン尿症	0
	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
241	高チロシン血症1型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
242	高チロシン血症2型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
243	高チロシン血症3型	0	292	総排泄腔外反症	0
244	メーブルシロップ尿症	0	293	総排泄腔遺残	0
245	プロピオン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
246	メチルマロン酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
247	イソ吉草酸血症	0	296	胆道閉鎖症	1
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	297	アラジール症候群	0
249	グルタル酸血症1型	0	298	遺伝性膵炎	0
250	グルタル酸血症2型	0	299	嚢胞性線維症	0
251	尿素サイクル異常症	0	300	IgG4関連疾患	22
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	301	黄斑ジストロフィー	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
254	ポルフィリン症	1	303	アッシュャー症候群	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
256	筋型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
257	肝型糖原病	0	306	好酸球性副鼻腔炎	28
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	307	カナバン病	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	308	進行性白質脳症	0
260	シトステロール血症	2	309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
261	タンジール病	1	310	先天異常症候群	0
262	原発性高カイロミクロン血症	1	311	先天性三尖弁狭窄症	0
263	脳髄黄色腫症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
264	無リポタンパク血症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
265	脂肪萎縮症	2	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
266	家族性地中海熱	3	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	1
267	高IgD症候群	0	316	カルニチン回路異常症	0
268	中條・西村症候群	0	317	三頭酵素欠損症	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1	318	シトリン欠損症	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
271	強直性脊椎炎	28	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
272	進行性骨化性線維異形成症	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	322	ケチオラーゼ欠損症	0
274	骨形成不全症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
276	軟骨無形成症	1	325	遺伝性自己炎症疾患	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0	326	大理石骨病	0
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	3
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1	328	前眼部形成異常	1
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0	329	無虹彩症	1
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	8
283	後天性赤芽球癆	3	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
285	ファンconi貧血	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	335	ネフロン癆	0
287	エプスタイン症候群	0	336	家族性低リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0	337	ホモシスチン尿症	0
289	クローンカイト・カナダ症候群	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

疾患数	132
合計患者数(人)	2828

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医療DX推進体制整備加算	・感染対策向上加算の注2に規定する指導強化加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・患者サポート体制充実加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・重症患者初期支援充実加算
・歯科外来診療感染対策加算4	・報告書管理体制加算
・歯科診療特別対応連携加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟)	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算	・術後疼痛管理チーム加算
・超急性期脳卒中加算	・後発医薬品使用体制加算3
・診療録管理体制加算1	・バイオ後続品使用体制加算
・医師事務作業補助体制加算1 30対1	・病棟薬剤業務実施加算1
・急性期看護補助体制加算 25対1, 夜間100対1急性期看護補助体制加算, 夜間看護体制加算, 看護補助体制充実加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・看護職員夜間配置加算 12対1	・データ提出加算
・療養環境加算	・入退院支援加算1
・重症者等療養環境特別加算	・入院時支援加算
・無菌治療室管理加算1, 2	・地域連携診療計画加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・緩和ケア診療加算	・精神疾患診療体制加算
・精神科応急入院施設管理加算	・精神科急性期医師配置加算
・精神病棟入院時医学管理加算	・排尿自立支援加算
・精神科身体合併症管理加算	・地域医療体制確保加算
・精神科リエゾンチーム加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・摂食障害入院医療管理加算	・特定集中治療室管理料2
・栄養サポートチーム加算	・特定集中治療室管理料の注1に規定する算定上限日数に関する基準
・医療安全対策加算1	・早期栄養介入管理加算
・感染対策向上加算1	・早期離床・リハビリテーション加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・新生児特定集中治療室管理料2	・
・総合周産期特定集中治療室管理料 1. 母体・胎児集中治療室管理料	・
・新生児治療回復室入院医療管理料	・
・小児入院医療管理料2	・
・小児入院医療管理料の注5に掲げる無菌治療管理加算1	・
・小児入院医療管理料の注5に掲げる無菌治療管理加算2	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料(注3に掲げるがん専門管理栄養士が栄養食事指導を行う場合)	・がん治療連携計画策定料
・遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	・外来排尿自立指導料
・糖尿病合併症管理料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・プログラム医療機器等指導管理料
・がん患者指導管理料イ	・高血圧症治療補助アプリを用いる場合の届出
・がん患者指導管理料ロ	・薬剤管理指導料
・がん患者指導管理料ハ	・医薬品安全性情報等管理体制加算
・外来緩和ケア管理料	・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・医療機器安全管理料1
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・医療機器安全管理料2
・造血幹細胞移植後患者指導管理料	・医療機器安全管理料(歯科)
・糖尿病透析予防指導管理料	・歯科治療時医療管理料
・高度腎機能障害患者指導加算	・救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・婦人科特定疾患治療管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・腎代替療法指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・一般不妊治療管理料	・皮下連続式グルコース測定
・二次性骨折予防継続管理料1	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・二次性骨折予防継続管理料3	・持続血糖測定器加算
・下肢創傷処置管理料	・遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
・院内トリアージ実施料	・染色体検査の注2に規定する基準
・外来放射線照射診療料	・骨髄微小残存病変量測定
・外来腫瘍化学療法診療料1	・BRCA1/2遺伝子検査
・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料)	・腫瘍細胞を検体とするもの
・外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	・血液を検体とするもの
・ニコチン依存症管理料	・がんゲノムプロファイリング検査

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・先天性代謝異常症検査	・口腔細菌定量検査
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)	・有床義歯咀嚼機能検査2の口及び咬合圧検査
・抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・画像診断管理加算4
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・遠隔画像診断
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	・CT撮影及びMRI撮影
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	・冠動脈CT撮影加算
・検体検査管理加算()	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・国際標準検査管理加算	・心臓MRI撮影加算
・遺伝カウンセリング加算	・乳房MRI撮影加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・小児鎮静下MRI撮影加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・頭部MRI撮影加算
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・全身MRI撮影加算
・胎児心エコー法	・肝エラストグラフィ加算
・ヘッドアップティルト試験	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・人工臓器検査、人工臓器療法	・外来化学療法加算1
・長期継続頭蓋内脳波検査	・無菌製剤処理料
・神経学的検査	・心大血管疾患リハビリテーション料()
・補聴器適合検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料()
・黄斑局所網膜電図	・運動器リハビリテーション料()
・全視野精密網膜電図	・呼吸器リハビリテーション料()
・ロービジョン検査判断料	・がん患者リハビリテーション料
・小児食物アレルギー負荷検査	・歯科口腔リハビリテーション料2
・内服・点滴誘発試験	・通院・在宅精神療法の注8に規定する療養生活継続支援加算
・頸静脈的肝生検	・通院・在宅精神療法の注11に規定する早期診療体制充実加算
・経気管支凍結生検法	・救急患者精神科継続支援料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・認知療法・認知行動療法1	・角結膜悪性腫瘍切除術
・精神科作業療法	・角膜移植術(内皮移植加算)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・羊膜移植術
・医療保護入院等診療料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・人工腎臓 慢性維持透析を行った場合1	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・網膜再建術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・経外耳道の内視鏡下鼓室形成術
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・人工中耳植込術
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・ストーマ合併症加算	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・歯科技工士連携加算2	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・歯科技工加算1及び2	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・顎関節人工関節全置換術(歯科)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・椎間板内酵素注入療法	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・緊急穿頭血腫除去術	・乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・乳癌悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・気管支バルブ留置術	・補助人工心臓
・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的下肢動脈形成術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・胸腔鏡下弁形成術	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・胸腔鏡下弁置換術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)	・体外衝撃波胆石破碎術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
・不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	・生体部分肝移植術
・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)	・同種死体肝移植術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・体外衝撃波膵石破碎術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術

・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
-----------------------	----------------------------------

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・麻酔管理料()
・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	・麻酔管理料()
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・周術期薬剤管理加算
・同種死体腎移植術	・放射線治療専任加算
・生体腎移植術	・外来放射線治療加算
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・一回線量増加加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・精巣温存手術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・定位放射線治療
・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・病理診断管理加算2
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・体外式膜型人工肺管理料	・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・看護職員処遇改善評価料61
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・外来・在宅ベースアップ評価料()
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料()
・輸血管管理料	・入院ベースアップ評価料69

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・LDLアフェレシス療法	・
・流産検体を用いた染色体検査	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二 年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1か月 24回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	20
	剖検率(%)	9.9

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(で囲む等)こ

(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
認知機能からみたこころの健康へのアプローチ:予防とレジリエンスのために	松井 三枝	GS教育系	19,527,450	補委 日本学術振興会
[アミロイドと異種アミロイド]混合型認知症におけるメタアグリゲート形成と毒性発現	小野 賢二郎	医学系	8,400,000	補委 日本学術振興会
肝微小環境の構造理解に基づく新たな代謝性肝炎治療の確立	本多 政夫	保健学系	5,000,000	補委 日本学術振興会
新規胚シグナルlaeverinの幹細胞と免疫システムに対する作用の解明と臨床応用	藤原 浩	医学系	4,500,000	補委 日本学術振興会
膠芽腫医療に抜本的変革をもたらす血液バイオマーカーの分子基盤の構築	中田 光俊	医学系	4,180,000	補委 日本学術振興会
分子疫学的コホート研究による遺伝性心血管疾患のリスク層別化・病態解明・治療薬探索	藤野 陽	保健学系	2,010,000	補委 日本学術振興会
概日リズムに基づく妊娠・産褥期セルフケアプログラムの開発・光と食による制御の検討	毎田 佳子	保健学系	3,900,000	補委 日本学術振興会
ナトリウム共役能動輸送型糖輸送体を標的としたセラノスティクス薬剤の開発	小林 正和	保健学系	2,100,000	補委 日本学術振興会
深層学習による画像情報を主軸にした包括的な肺機能診断法の確立	田中 利恵	AIホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究開発センター(保)	2,400,000	補委 日本学術振興会
上皮、間葉系肝癌幹細胞による間質細胞リプログラミングの解明とその診断治療への応用	山下 太郎	医学系	4,400,000	補委 日本学術振興会
治療後微小残存する白血球幹細胞に対する新規治療標的の開発	宮本 敏浩	医学系	2,200,000	補委 日本学術振興会
臓器移植・造血幹細胞移植におけるHLAエピトープに基づく新規バイオマーカー開発	八木 真太郎	医学系	5,234,297	補委 日本学術振興会
地域住民コホートゲノム情報及び生活習慣情報を用いた動脈硬化性疾患個別化医療の開発	高村 雅之	医学系	2,500,000	補委 日本学術振興会
言語機能回復に伴う脳内ネットワーク再組織化の構造的メカニズムの解明	中嶋 理帆	保健学系	1,700,000	補委 日本学術振興会
原発性アルドステロン症における新治療戦略ー安全かつ高奏功な根本治療の開発	絹谷 清剛	医学系	1,700,000	補委 日本学術振興会
治療耐性膵がんの悪性形質を繋ぐ分子経路の解明と耐性制御法開発への応用	源 利成	がん進展制御研究所	4,100,000	補委 日本学術振興会
診断閾下を含む自閉スペクトラム症の生物学的検討	菊知 充	医学系	3,500,000	補委 日本学術振興会

新規モニタリング法の確立によるB型肝炎ウイルスを完全駆除する薬物の探索と同定	島上 哲朗	保健管理センター	3,300,000	補委	日本学術振興会
EGFR変異肺がんを共存変異で層別化する個別化医療の理論的基盤を形成する研究	矢野 聖二	医学系	5,100,000	補委	日本学術振興会
セレブロタンパク質とmRNAの機能理解に基づく糖尿病病態の解明	篁 俊成	医学系	3,800,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌におけるEBVと宿主細胞相互作用の分子機構解明と新規治療法の開発	吉崎 智一	医学系	3,000,000	補委	日本学術振興会
HSF-1 が関与する中枢神経再生へのカスケード反応	杉谷 加代	保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
薬剤師のポリファーマシーへの介入は認知機能低下やフレイルを予防・改善できるか	石崎 純子	薬学系	400,000	補委	日本学術振興会
悪性軟部腫瘍個別化療法のための新規同所移植モデル確立とその機能解析	山本 憲男	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
仮想現実と経頭蓋直流電気刺激を用いた新たなリハビリテーションの開発	久保田 雅史	保健学系	300,000	補委	日本学術振興会
複合型高脂血症発症に関与する肝性リパーゼ活性・内因性リパーゼインヒビターの役割	稲津 明広	保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
超音波診断装置を用いて脂肪由来幹細胞を経時的に複数回投与した自家神経移植の研究	多田 薫	保健学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
心機能評価の精度管理を目的とした三次元心動態ファントムと標準化ガイドラインの構築	小野口 昌久	保健学系	450,000	補委	日本学術振興会
遺伝性不整脈症候群の病原性遺伝子変異の決定とそれに基づく個別化医療の実現	林 研至	保健学系	750,000	補委	日本学術振興会
腸管免疫の破綻を基とした糖尿病性腎症進行の病態解明	岩田 恭宜	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
免疫グロブリン軽鎖による腎障害の病態解明	伊藤 清亮	医薬保健学総合研究科	900,000	補委	日本学術振興会
免疫沈降法ーウェスタンブロッティング法を用いた膠原病関連自己抗体の同定	濱口 儒人	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
RBPJの発現レベルに影響される膠芽腫の細胞形質転換とテモゾロミドの反応性	田中 慎吾	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
骨軟部肉腫における腫瘍免疫状態の解明と新規免疫療法の開発	三輪 真嗣	医学系	700,000	補委	日本学術振興会
原発性アルドステロン症における網膜神経節細胞死 その機序と緑内障との比較	杉山 和久	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
眼圧日内変動に対するメラトニン系の役割の解明	東出 朋巳	医学系	700,000	補委	日本学術振興会
院外心停止に対する現場蘇生中止基準の開発研究	後藤 由和	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
AIアプリPHRとVRを活用した3Dオンライン診療システムの構築	米田 隆	融合科学系	800,000	補委	日本学術振興会
ハイリスクアプローチ基盤の地域支援者向け自殺予防教育プログラムの開発	田中 浩二	保健学系	690,000	補委	日本学術振興会

片麻痺ブッシャー現象の客観的評価法と感覚参照系を踏まえた治療法の開発	浅井 仁	保健学系	400,000	補委	日本学術振興会
縦型オープンMRIによる骨盤底筋群と股関節周囲筋の共同収縮機序の解明	間所 祥子	保健学系	860,000	補委	日本学術振興会
ヒト皮下脂肪間質細胞を用いた拍動心筋細胞の心不全治療応用へ向けた研究	高島 伸一郎	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
安静時の膝伸筋群の超音波画像を用いた広範囲年齢層の膝伸筋最大筋力の推定	三秋 泰一	保健学系	600,000	補委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症児の言語特性の神経基盤の検討・支援法に関する研究	吉村 優子	学校教育系	1,100,000	補委	日本学術振興会
神経筋難病患者における筋肉の量的、質的变化が薬物治療に及ぼす影響の定量的解明	松下 良	薬学系	1,150,000	補委	日本学術振興会
Bloom症候群モデルマウスを用いた血液腫瘍発症を予防する遺伝子治療前臨床試験	伊川 泰広	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
遺伝性血栓症の病因(オミックス解析)と病態の解明	森下 英理子	保健学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
高速原子間力顕微鏡を用いた凝集タンパクのクロス・シーディング効果の時空間的観察	小野 賢二郎	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
高リスク神経芽腫に対する超効果的・効率的核医学治療法の開発	萱野 大樹	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
内視鏡医を対象とした線量計一体型放射線防護眼鏡の開発	松原 孝祐	保健学系	700,000	補委	日本学術振興会
拡散MRIと位相コントラスト法を組み合わせた新たな脳血流量イメージングの確立	大野 直樹	保健学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
小児多系統炎症性症候群の免疫学的解析とバイオマーカー探索	松田 裕介	医学系	900,000	補委	日本学術振興会
T細胞受容体遺伝子と免疫チェックポイント阻害薬による肝がん新規治療開発	中河 秀俊	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
肝がんにおける循環癌間質細胞の特性と臨床的意義の探索	山下 竜也	先進予防医学研究センター	750,000	補委	日本学術振興会
全身性強皮症におけるB細胞の包括的解析	松下 貴史	医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
大血管手術後の脊髄虚血に関するバイオマーカーの測定と探索	竹村 博文	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
敗血症性心筋障害におけるエンドセリンA受容体拮抗薬の効果と機序の解明	岡島 正樹	医学系	500,000	補委	日本学術振興会
脊椎腫瘍に対する凍結融解壊死治療の安全性の確立および脊髄保護対策	出村 諭	医学系	850,000	補委	日本学術振興会
人工関節周囲感染予防における理想的な希釈ポビドンヨード術中洗浄液の使用法の確立	井上 大輔	医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞を用いた骨関節感染症治療用バイオインプラントの開発	林 克洋	保健学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
KRAS活性を介したダブルネガティブ去勢抵抗性前立腺癌進展機構の解明	泉 浩二	医学系	500,000	補委	日本学術振興会

FLASH放射線治療を想定したゲル線量計ポーラスを用いた線量分布検証法の開発	武村 哲浩	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
唾液分泌制御を目的とした経皮的唾液腺局所作用型外用剤の開発	石田 奈津子	薬学系	900,000	補委	日本学術振興会
線溶病態に着目したDICにおける多発血栓形成プロセスの解明とその治療応用	菅 幸生	薬学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
糸球体門部小血管増生に着目した糖尿病性腎臓病の進展抑制機序の解明	清水 美保	医学系	700,000	補委	日本学術振興会
経頭蓋直流電気刺激はGABA神経が作るネットワークの特性をどう変えるのか？	廣澤 徹	子どものこころの発達研究センター	1,700,000	補委	日本学術振興会
高精度定量画像と臨床データベースの統合による人工知能型診断体系の構築	中嶋 憲一	先進予防医学研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会
自己免疫性骨髄不全症患者IPS細胞を用いた疾患モデルの創出と選択的造血制御の解明	片桐 孝和	保健学系	860,000	補委	日本学術振興会
NAFLDを伴った糖尿病に対する薬物療法の研究:連続肝生検を用いて	竹下 有美枝	医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
移乗介助時の腰部リスクに基づきVRを介した移乗教示の効果	柴田 克之	保健学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
骨腫瘍切除後の腫瘍骨移植における高圧処理技術の応用-腫瘍学的安全性の検証-	横川 文彬	医薬保健学総合研究科	700,000	補委	日本学術振興会
自然免疫受容体を介した脂肪由来幹細胞の活性化とバイオフィルム感染症への応用	加畑 多文	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
耳小骨連鎖異常症例に対する簡易非侵襲診断機器の開発	杉本 寿史	医学系	900,000	補委	日本学術振興会
包括的高度慢性下肢虚血 (CLTI) ハイリスク患者の重症化防止振動ケアプログラムの確立	大桑 麻由美	保健学系	1,320,000	補委	日本学術振興会
環境エンリッチメントの脳ダイナミクスと行動学習障害の回復に関する基礎研究	菊池 ゆひ	保健学系	2,300,000	補委	日本学術振興会
末梢神経の経皮的ノイズ電気刺激による手の運動調節能への効果と筋・脳活動の解明	西村 誠次	保健学系	2,350,000	補委	日本学術振興会
脈管内がん幹細胞の胚シグナル分子による微小環境形成機構とそれを標的にした治療戦略	藤原 浩	医学系	2,300,000	補委	日本学術振興会
脳手術と脳科学の変革を狙った機能シフトを担う脳浅層神経ネットワークの解析	中田 光俊	医学系	2,500,000	補委	日本学術振興会
連続肝生検アプローチによる糖尿病性脂肪肝炎のバイオマーカー探索	篁 俊成	医学系	1,800,000	補委	日本学術振興会
新規生物学的コンセプトを応用した頭頸部ウイルス発癌超早期治療法の開発	吉崎 智一	医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
がん特異的グルタミンリシスを利用したミトコンドリア標的セラノステクス薬剤の開発	小林 正和	保健学系	1,450,000	補委	日本学術振興会
PML-RARA融合遺伝子サブタイプが規定する白血病幹細胞性獲得機構の解明	宮本 敏浩	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
胸部X線動画検査による4次元肺機能評価への挑戦	田中 利恵	AIホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究開発センター(保)	1,700,000	補委	日本学術振興会

改変エクソソームを用いた臓器移植後の革新的免疫抑制法の開発	八木 真太郎	医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
脳機能がシフトする範囲の解明による新規リハビリテーション指針策定	中嶋 理帆	保健学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
近接ジオメトリ方式による超高解像度CTの応用技術開発	川嶋 広貴	保健学系	400,000	補委	日本学術振興会
軟部肉腫に対する患者由来腫瘍同所移植マウスモデルを用いた個別化医療の開発	五十嵐 健太郎	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
鶏卵モデルを用いた喉頭乳頭腫難治化要因の解明	中西 庸介	医学系	500,000	補委	日本学術振興会
アルツハイマー病ハイリスク地域住民の海馬容積に注目した防御的生活習慣因子の探索	小松 潤史	医薬保健学総合研究科	200,000	補委	日本学術振興会
心臓専用半導体SPECTを用いた複数分子同時収集の物理因子解明と補正技術の確立	澁谷 孝行	保健学系	600,000	補委	日本学術振興会
肝腫瘍画像診断の標準化診断法における新WHO分類に基づく病理組織学的根拠の確立	五十嵐 紗耶	医学系	700,000	補委	日本学術振興会
肺胞マクロファージによる2型肺胞上皮細胞の増殖・分化制御機構の解明	渡辺 知志	医薬保健学総合研究科	800,000	補委	日本学術振興会
トロンボモジュリン結合障害型異常プロトロンピンによる血栓形成機構の分子学的解析	長屋 聡美	保健学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
シングルセルマルチオミックス解析による肝がん微小環境の解明	村居 和寿	保健学系	1,800,000	補委	日本学術振興会
進行胃癌に対する抗がん剤選択効率化のための医療経済評価研究	柏 宗伸	薬学系	900,000	補委	日本学術振興会
肺腺癌から小細胞癌への形質転換モデル作製・解析と小細胞肺癌に対する治療戦略の探索	木場 隼人	医薬保健学総合研究科	800,000	補委	日本学術振興会
SUMO化阻害を基軸としたMYC関連悪性腫瘍に対する新規治療法開発	小谷 浩	がん進展制御研究所	1,800,000	補委	日本学術振興会
細菌増殖活性を反映した細菌感染症の画像診断法および核医学治療法の開発	水谷 明日香	保健学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
NASHを増悪させる肥満者特有の腸内細菌と細菌遺伝子の同定	林 智之	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
再生不良性貧血患者のBCOR/BCORL1変異造血幹細胞における免疫逃避機序の解明	井美 達也	医学系	900,000	補委	日本学術振興会
術前liquid biopsyを用いたゲノム・RNA発現解析による肺癌術後の個別化医療の探索	木場 隼人	医薬保健学総合研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
B型・D型肝炎ウイルス共感染が引き起こす肝疾患の分子生物学的機序の解明	島上 哲朗	保健管理センター	2,600,000	補委	日本学術振興会
人種間の他者理解脳内ネットワーク解析と覚醒下手術への応用	中田 光俊	医学系	2,400,000	補委	日本学術振興会
褐色・白色脂肪組織におけるセレノプロテインPおよびそのmRNA標的分子の機能解析	篁 俊成	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
精神・神経疾患の認知予備力評価法の開発:神経心理学的メカニズムの解明のために	松井 三枝	G S教育系	1,659,883	補委	日本学術振興会

肝細胞がんにおける多細胞間相互作用の解明による新規がん免疫療法開発の基盤研究	水腰 英四郎	附属病院	3,000,000	補委	日本学術振興会
地域住民コホート研究を用いた先進的ゲノム解析による新規がん精密個別化医療開発	多田 隼人	附属病院	3,600,000	補委	日本学術振興会
放射線治療におけるポリマーゲル線量計を用いた第三者評価を目指した評価方法の検討	熊原 成美	附属病院	380,000	補委	日本学術振興会
リトドリン塩酸塩持続点滴投与による血管障害に関する検討	下川 頌子	附属病院	370,000	補委	日本学術振興会
大血管手術でのmulti-train刺激による運動誘発電位モニタリングの応用と有用性検討	油野 岳夫	附属病院	340,000	補委	日本学術振興会
MRIによる脳内水分子揺動の解明と定量化	岡本 里穂	附属病院	480,000	補委	日本学術振興会
マルチパラメトリックMRIを用いた子宮機能評価法の確立	渡辺 沙緒莉	附属病院	480,000	補委	日本学術振興会
顎変形症患者における超音波エラストグラフィを用いた咬筋機能の新規評価法の開発	寺上 貴子	附属病院	450,000	補委	日本学術振興会
ウェアラブル筋電計を用いた顎変形症患者の睡眠時ブラキシズムの検討	中田 晶子	附属病院	410,000	補委	日本学術振興会
車椅子座位姿勢の違いが自律神経系および情動系の機能に及ぼす影響の検証	高田 勇	附属病院	380,000	補委	日本学術振興会
一般住民への食生活介入の高尿酸血症及び慢性腎臓病に対する1次予防効果の検討	宮城 栄重	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
認知症における新規病態解明ならびにバイオマーカー開発	中出 祐介	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
肝癌治療効果を予測するための肝癌内細菌かつ腸内細菌を用いたバイオマーカーの開発	飯田 宗穂	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
末梢血遺伝子発現解析による心房細動器質予測法の開発	加藤 武史	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
HLA-DR15欠失血球陽性再生不良性貧血における免疫病態の解明	細川 晃平	附属病院	300,000	補委	日本学術振興会
大伏在静脈周囲組織がグラフト血管内皮機能に与える影響に関する研究	飯野 賢治	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
グルタールアルデヒド固定処理自家心膜導管を用いた生体内組織再生誘導型気管再建	吉田 周平	附属病院	740,000	補委	日本学術振興会
脳動脈瘤再発予防に向けた数値流体力学解析によるステント併用コイル塞栓術の開発	見崎 孝一	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
液体窒素を用いた腫瘍処理骨再建術における処理骨周囲膜組織の機能解明	浅野 陽平	附属病院	400,000	補委	日本学術振興会
自家脂肪由来幹細胞シートを用いた革新的な巨大骨欠損再建法の開発	下川 寛右	附属病院	400,000	補委	日本学術振興会
栄養膜細胞特異抗原を用いた末梢血循環腫瘍細胞の検出と新規転移抑制治療法の開発	松本 多圭夫	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
EBウイルスによるDNAメチル化誘導機構の解明と新規上咽頭癌治療法の開発	近藤 悟	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会

改変型TIMP-3を用いた選択的軟骨破壊阻害による進行性下顎頭吸収の抑制	大井 一浩	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
網羅的D-アミノ酸解析による伝統的発酵食品と健康長寿・腎保護との関連性解明	北島 信治	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
膵癌高危険群における膵液中マイクロRNAとエピゲノム解析による早期診断法の確立	大坪 公士郎	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
肝腫瘍におけるvessel co-optionのイメージバイオマーカーの開発	小坂 一斗	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
新生児ヘモクロマトーシスの原因となるアロ抗体同定とIVIg治療の理論的基盤の確立	谷内江 昭宏	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
炎症性腸疾患の遺伝学的病型診断と個別化治療に関する研究	山田 真也	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
軽鎖沈着症を生じるM蛋白の構造的・機能的"質"の解明	西岡 亮	附属病院	850,000	補委	日本学術振興会
膵癌個別化治療のための血小板を利用した新たなバイオマーカーの確立	牧野 勇	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
ビタミンB2を用いた生体組織の血流診断法の開発	齋藤 大輔	附属病院	1,350,000	補委	日本学術振興会
DICにおける炎症と凝固の相互作用と血管作動性物質の制御	朝倉 英策	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
代用音声による人工呼吸器装着患者とのコミュニケーション促進	佐藤 康次	附属病院	300,000	補委	日本学術振興会
糖尿病による骨癒合遅延に対する糖化ストレス解消療法の開発	松原 秀憲	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
マウス胎盤ラビリンス層に出現する新規GLAST陽性細胞の機能解析	鏡 京介	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
フィブリン形成を介した腹水卵巣癌細胞の新しいTME形成機序	松岡 歩	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
前十字靭帯再建術による腱の採取が筋力および動作に影響を与えるか	仙石 拓也	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
XRを活用した前方視的(リアルタイム)食事指導AIアプリ開発と検証	米谷 充弘	附属病院	550,000	補委	日本学術振興会
ADL指標を組み込んだ薬物体内動態個人間変動予測の精緻化	崔 吉道	附属病院	630,000	補委	日本学術振興会
分子標的治療誘導性転移の新規分子機構の解明と予防法の確立	南條 成輝	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
Nrf-2/HO-1系を利用した抗炎症増強による全身型若年性特発性関節炎の新規治療法の開発	横山 忠史	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
肝癌幹細胞とCXCR2陽性細胞の細胞間相互作用の解析と新規治療法開発	丹尾 幸樹	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
心筋生検検体を用いたシングル核RNA-Seqと空間的解析による肥大型心筋症の病態解明	吉田 昌平	附属病院	1,250,000	補委	日本学術振興会
「線維化持続環境」の制御による腎臓病トータルマネージメントの基盤確立	坂井 宣彦	附属病院	850,000	補委	日本学術振興会

補体経路に着目したIgG4関連腎臓病の病態解析と特異的治療開発	原 怜史	附属病院	300,000	補委	日本学術振興会
造血不全におけるminiscule PNH顆粒球の意義に関する検討	山崎 宏人	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
AIT施行患者由来のアレルゲン認識組換えIgG4抗体における抑制性機能の解明	渡部 良広	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
モデルマウスを用いたIgG4関連疾患における喫煙の影響の解明と疾病予防的指針の確立	水島 伊知郎	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
システロール血症におけるVUSの病原性評価スキームの確立に関する研究	岡田 寛史	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
転移性骨腫瘍モデルを用いた局所療法(凍結、焼灼、放射線)のがん免疫増強効果の検証	加藤 仁志	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
乳癌患者におけるタモキシフェンによる子宮内膜着床能向上と卵巣保護作用の解析	山崎 玲奈	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
高度な2型炎症を有するIgG4関連疾患モデルマウスにおける嗅球と海馬の解析	上野 貴雄	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
アイバンクに依存しない人工角膜内皮を用いた角膜内皮移植術に関する基礎的臨床的研究	小林 顕	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
新生児拡大マスキング検査における患者家族の心理社会的影響の解析	岡島 道子	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
関節軟骨の廃用性萎縮に対する理学療法による治療効果の解明	高橋 郁文	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
機械学習を用いたCKD未病状態における新規病型分類と治療効果	遠山 直志	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
大腸癌肝転移に対して免疫原性細胞死がabscopal効果に及ぼす影響の研究	齋藤 裕人	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
分子標的薬併用による甲状腺癌内用療法不応性患者に対する次世代治療戦略の検証	廣正 智	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
小児脊柱側弯症患者の全脊椎X線CT検査における低線量プロトコルの開発	高田 忠徳	附属病院	300,000	補委	日本学術振興会
心房細動のリスク因子探索と高齢者への最適治療戦略構築をめざす大規模コホート研究	津田 豊暢	附属病院	400,000	補委	日本学術振興会
非侵襲的に記録された皮膚交感神経活動の心房細動治療における役割の解明	草山 隆志	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
抗腫瘍剤抵抗性獲得のための癌細胞による血小板貪食に関する検討	野村 皓三	附属病院	200,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌における新規バイオマーカーの開発と臨床応用	平井 信行	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
概日リズム障害は線内障害を誘導するか？	土屋 俊輔	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
地域脳健診での認知症発症と口腔機能の関連解析	石宮 舞	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
West症候群の早期診断を目指したオンライン動画診断支援システムの確立	黒田 文人	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会

子宮内免疫抑制剤曝露児に対するワクチン接種の妥当性評価	藤田 有美	附属病院	1,900,000	補委	日本学術振興会
複合免疫治療の効果および免疫関連有害事象に関わる末梢血バイオマーカーの開発	丹保 裕一	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
統合失調症の作業記憶ネットワークにおけるGABA伝達変化のシナプス後部メカニズム	坪本 真	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
MRIを用いた総合的肝硬度評価法の確立	小野田 農	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
心筋梗塞後抑うつ状態におけるシグマ1受容体定量可視化による心脳連関の解明	森 博史	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
MAPキナーゼ経路の制御による全身性エリテマトーデスの新規治療法の開発	宇佐美 雅章	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎における局所環境動態に基づく間葉系幹細胞治療の機序解明	関 晃裕	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
薬剤溶出性ステント留置後の内皮化のメカニズムの解明	森 雅之	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
糖尿病性腎症における腸内細菌を介した腎障害機序の可視化	大島 恵	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
アルドステロン産生副腎過形成の成因となる脂肪組織由来miRNAの探索と機能解析	中野 雄二郎	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
膵癌における三次リンバ様構造(TLS)の役割解明と治療への応用	高田 智司	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
腎細胞癌原発巣中心壊死組織に着目した遠隔癌細胞活性化機構の解明	門本 卓	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
循環腫瘍細胞の免疫寛容獲得機構の解明と新規転移抑制治療法の開発	山本 恵	附属病院	1,800,000	補委	日本学術振興会
マウス子宮蠕動運動と食事による概日リズム調節に注目した産科婦人科疾患予防法の探索	細野 隆	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
近視性緑内障病態解明のための眼位変化時の視神経乳頭構造および眼血流の解析	宇田川 さち子	附属病院	300,000	補委	日本学術振興会
分化型甲状腺癌に対する放射性ヨウ素内用療法における効果的・効率的治療法の開発	山瀬 喬史	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
マウスモデルを用いた慢性GVHDの新規予防法・病勢マーカーの確立	藤木 俊寛	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
地域住民コホートをを用いた先進的ゲノム解析による大動脈弁狭窄症の予防戦略開発	竹治 泰明	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
OCTN1を介した腸内最近関連物質の移動によるSLE進展機序の解明	中川 詩織	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
免疫担当細胞のシングルセル解析による炎症性発癌機構の解明	武居 亮平	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
膵癌の進展におけるRAGEの関与と治療ターゲットとしての検証	所 智和	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
治療抵抗性前立腺癌に対するコーヒージテルペン作用機序の解明と新規治療法の開発	岩本 大旭	附属病院	1,800,000	補委	日本学術振興会

肝間質細胞 癌細胞の細胞間相互作用に着目した前立腺癌進展機構の解明	内藤 伶奈人	附属病院	1,800,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌におけるファルネシル化を介した、エクソソーム形成機構の解明	小林 英士	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
FOXO3活性化による胃がん悪性化機構の解明と臨床効果の検証	辻 敏克	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
経静脈的に全身投与したADSCsの自家神経移植治療における作用機序の解明	本田 宗一郎	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
MSI-high大腸がんオルガノイドを用いたWntリガンド阻害薬の治療効果	山本 大輔	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
KIM-1に着目したループス腎炎の新規病態メカニズム解明	迫 恵輔	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
糸球体内皮細胞におけるGalectin-8を標的とした糸球体硬化進展の新規機序解明	原 怜史	附属病院	11,900,000	補委	日本学術振興会
ネットワーク社会における地域の特性に於いた肝疾患診療連携体制構築に資する研究	金子 周一	医薬保健学総合研究科	9,658,000	補委	厚生労働省
指定難病の普及・啓発に向けた包括的研究	和田 隆志	その他部局等	26,750,000	補委	厚生労働省
慢性活動性EBV病の疾患レジストリ情報に基づく病型別根治療法の確立	和田 泰三	医学系	150,000	補委	厚生労働省
放射線診療の発展に対応する放射線防護の基準策定のための研究	松原 孝祐	保健学系	200,000	補委	厚生労働省
全国規模の肝炎ウイルス感染状況の把握及びウイルス性肝炎 eliminationに向けた方策の確立に資する疫学研究を資する研究	島上 哲朗	保健管理センター	1,000,000	補委	厚生労働省
アミロイドーシスに関する調査研究	小野 賢二郎	医学系	200,000	補委	厚生労働省
原発性免疫不全症候群の全国診療体制確立、移行医療体制構築、診療ガイドライン確立に関する研究	和田 泰三	医学系	1,000,000	補委	厚生労働省
認知症の遠隔医療およびケア提供を促進するための研究	小野 賢二郎	医学系	2,000,000	補委	厚生労働省
難治性腎障害に関する調査研究	和田 隆志	その他部局等	300,000	補委	厚生労働省
放射線療法の提供体制構築に資する研究	絹谷 清剛	医学系	250,000	補委	厚生労働省
効率的でドナーの負担軽減に資する末梢血幹細胞採取法の確立と非血縁者間末梢血幹細胞移植の治療成績向上のための研究	宮本 敏浩	医学系	200,000	補委	厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患における、移行期医療を含めた診療体制整備、患者登録推進、全国疫学調査に基づく診療ガイドライン構築に関する研究	和田 泰三	医学系	600,000	補委	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の確定診断と重症度判定の向上に資する大規模多施設研究	加畑 多文	医学系	100,000	補委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	松下 貴史	医学系	180,000	補委	厚生労働省
小児から成人期発症遺伝性QT延長症候群とその類縁疾患の突然死予防に関する研究	林 研至	保健学系	100,000	補委	厚生労働省

特発性心筋症の診断・ゲノム情報利活用に関する調査研究	藤野 陽	保健学系	300,000	補委	厚生労働省
血液凝固異常症等に関する研究	森下 英理子	保健学系	16,924,000	補委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	出村 諭	医学系	250,000	補委	厚生労働省
神経免疫疾患領域における難病の医療水準と患者のQOL向上に資する研究	吉川 弘明	保健管理センター	800,000	補委	厚生労働省
肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究	島上 哲朗	保健管理センター	400,000	補委	厚生労働省
指標等を活用した地域の実情に応じた肝炎対策均てん化の促進に資する研究	島上 哲朗	保健管理センター	3,000,000	補委	厚生労働省
パーソナルヘルスコードを活用した診療(オンライン診療中心とした)における行動変容に関する研究	米田 隆	融合科学系	6,160,000	補委	厚生労働省
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	米田 隆	融合科学系	200,000	補委	厚生労働省
原発性脂質異常症に関する調査研究	多田 隼人	附属病院	5,600,000	補委	厚生労働省
自己免疫性出血症診療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	朝倉 英策	附属病院	500,000	補委	厚生労働省
オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	高比良 雅之	附属病院	800,000	補委	厚生労働省
オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	井上 大	附属病院	500,000	補委	厚生労働省
特発性造血障害に関する調査研究	山崎 宏人	附属病院	500,000	補委	厚生労働省
患者との双方向的協調に基づく先天異常症候群の自然歴の収集とrecontact可能なシステムの構築	渡邊 淳	附属病院	800,000	補委	厚生労働省
前眼部難病の診療ガイドライン作成および普及・啓発の研究	小林 顕	附属病院	500,000	補委	厚生労働省

計368,423,630

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Satoshi Kato , Satoru Demura , Kazuya Shinmura 他	脊椎・脊髄外科	Delayed ischemic spinal cord injury after total en bloc spondylectomy in the thoracic spine	J Orthop Sci	Original Article
2	Makoto Handa, Satoshi Kato, Goro Sakurai 他	脊椎・脊髄外科	The prevalence of locomotive syndrome and its associated factors in patients with Type 2 diabetes mellitus	Mod Rheumatol	Original Article
3	Wakabayashi H, Mori H, Hiromasa T 他	核医学診療科	¹²⁵I-labeled 2-[4-(2-iodophenyl)piperidino]cyclopentanol (¹²⁵I-OI5V) imaging visualized augmented sigma-1 receptor expression according to the severity of myocardial ischemia.	J Nucl Cardiol. 2023 Apr;30(2):653-661	Original Article
4	Aoki T, Kinoshita J, Munesue S,et al.	消化管外科	Hypoxia-Induced CD36 Expression in Gastric Cancer Cells Promotes Peritoneal Metastasis via Fatty Acid Uptake	Ann Surg Oncol	Original Article
5	Kazuhiro Noguchi,Yasuhiro Ikawa,Mika Takenaka 他	小児科	Presence of identical B-cell clone in both cerebrospinal fluid and tumor tissue in a patient with neuroblastoma.	Pediatr Hematol Oncol.2023 May;40(4):363-370	Original Article
6	Matsui R, Inaki N, Tsuji T.	消化管外科	Impact of malnutrition as defined by the global leadership initiative on malnutrition criteria on the long-term prognosis in older patients with gastric cancer after gastrectomy	Surg Today	Original Article
7	Shuhei Yoshida, Isao Matsumoto, Daisuke Saito, et al.	呼吸器外科	Partial Tracheal Defects Closure using Glutaraldehyde-Treated Autologous Pericardium	Thorac Cardiovasc Surg. 2023 Sep; 71(6): 490-496	Original Article
8	Kitao A, Matsui O, Zhang Y, 他	放射線科	Dynamic CT and Gadoxetic Acid-enhanced MRI Characteristics of P53-mutated Hepatocellular Carcinoma	Radiology 306(2):e220531,2023 オンライン	Original Article
9	Hiroyuki Kawahara, Ichiro Mizushima, Shunsuke Tsuge 他	腎臓・リウマチ膠原病内 科	Clues to mortality trends and their related factors in IgG4-related disease: A Japanese single-centre retrospective study.	Mod Rheumatol. 33(6): 1154-1161, 2023 Nov.	Original Article
10	Hidetoshi Nakagawa, Hajime Takatori, Tomoyuki Hayashi 他	消化器内科	Eradication of angiomas by nylon loop snare ligation under total enteroscopy, in disseminated intravascular coagulation associated with blue rubber bleb nevus syndrome	Endoscopy. 2023 Dec;55(S 01):E137-E138.	Case report
11	Kozaka K, Takahashi H, Inoue A, 他	放射線科	Mucinous cystic neoplasms of the liver with biliary prolapse	Jpn J Radiol. 2023 Apr;41(4):409-416.	Original Article
12	Daisuke Inoue, Tamon Kabata, Yoshitomo Kajino 他	整形外科	Risk factor analysis on perioperative greater trochanteric fracture of total hip arthroplasty via anterolateral approach	Arch Orthop Trauma Surg	Original Article
13	Toyonobu Tsuda, MD; Takeshi Kato, MD; Keisuke Usuda,et al.	循環器内科	Effect of Catheter Ablation for Atrial Fibrillation in Heart Failure With Mid-Range or Preserved Ejection Fraction Pooled Analysis of the AF Frontier Ablation Registry and Hokuriku-Plus AF Registry	Circ J. 2023 Jun 23;87(7):939-946	Original Article
14	Kano H, Izumi K, Hiratsuka K他	泌尿器科	Suppression of androgen receptor signaling induces prostate cancer migration via activation of the CCL20-CCR6 axis	Cancer Sci. 2023 Apr;114(4):1479-1490.	Original Article

15	Akinori Hara, Takashi Wada, Eri Muso 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Effect of Low-Density Lipoprotein Apheresis on Quality of Life in Patients with Diabetes, Proteinuria, and Hypercholesterolemia.	Blood Purif. 52(4): 373-381, 2023.	Original Article
16	Kaori Yoshimura, Yuko Tamano, Hiep Nguyen Canh 他	病理部	A novel pathologic marker, indoleamine 2,3-dioxygenase 1, for the cholangiopathy of immune checkpoint inhibitors-induced immune mediated hepatotoxicity as adverse events and the prediction of additional ursodeoxycholic acid treatment.	Med Mol Morphol. 2023 Jun;56(2):106-115	Original Article
17	Hirofumi Ouchi, Yuki Mizutani, Kaori Yoshimura 他	病理部	Anti-inflammatory and antifibrotic effects of CBP/ -catenin inhibitor for hepatocytes: small molecular inhibitor, OP-724 possibly improves liver function.	Med Mol Morphol. 2023 Jun;56(2):94-105.	Original Article
18	Okuda M, Yoshida K, Kobayashi S, 他	放射線科	Desmoid-type fibromatosis: imaging features and course	Skeletal Radiol. 2023 Jul;52(7):1293-1303. doi: 10.1007/s00256-023-04275-x. Epub 2023 Jan 16.	Review
19	Mizuhata M, Takamatsu S, Shibata S, 他	放射線治療科	Patterns of failure in glioblastoma multiforme following Standard (60 Gy) or Short course (40 Gy) radiation and concurrent temozolomide	Jpn J Radiol. 2023 Jun;41(6):660-668. doi: 10.1007/s11604-023-01386-2. Epub 2023 Jan 17.	Original Article
20	Matsushita T, Fushida N, Horii M 他	皮膚科	Authors' reply to "a case of juvenile amyopathic dermatomyositis with anti-transcription intermediary factor 1-antibody showing negative anti-TIF1-ELISA results: Comment on the article by Mizumaki et al."	J Dermatol 50(7):e228-e229, 2023 Jul.	Others
21	Toshima F, Inoue D, Kozaka K, 他	放射線科	Can solid pseudopapillary neoplasm of the pancreas without degeneration be diagnosed with imaging? a comparison study of the solid component of solid pseudopapillary neoplasm, neuroendocrine neoplasm, and ductal adenocarcinoma	Abdom Radiol (NY). 2023 Mar;48(3):936-951. doi: 10.1007/s00261-023-03814-3. Epub 2023 Jan 28.	Original Article
22	Takeshi Terashima, Tatsuya Yamashita, Hisashi Takabatake 他	消化器内科	Successful second conversion surgery after trastuzumab deruxtecan for recurrent HER2-positive gastric cancer	Clin J Gastroenterol. 2023 Jun;16(3):330-335.	Case report
23	Matsui R, Inaki N, Tsuji, et al.	消化管外科	Effect of malnutrition as defined by the Global Leadership Initiative on Malnutrition criteria on compliance of adjuvant chemotherapy and relapse-free survival for advanced gastric cancer	Nutrition	Original Article
24	Koki Abe, Hirokazu Kawase, Noriaki Yokogawa 他	脊椎・脊髄外科	Mapping the Japanese orthopedic association national registry (JOANR) to the international classification of health interventions (ICHI)	J Orthop Sci	Original Article
25	Sho Tamai, Toshiya Ichinose, Mitsutoshi Nakada	脳神経外科	Liquid biomarkers in glioma.	Brain Tumor Pathology 40(2):66-77, 2023 Apr.	Review
26	Ikufumi Takahashi, Taro Matsuzaki, Hiroshi Kuroki, et al.	リハビリテーション部	Treadmill Exercise Suppresses Histological Progression of Disuse Atrophy in Articular Cartilage in Rat Knee Joints during Hindlimb Suspension	Cartilage, 14(4): 482-491, 2023	Original Article
27	Yuhei Fujisawa, Ichiro Mizushima, Yasunori Suzuki 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Nephrolithiasis and/or nephrocalcinosis is significantly related to renal dysfunction in patients with primary Sjögren's syndrome.	Mod Rheumatol. 34(2): 376-381, 2024 Feb.	Original Article
28	Norihiro Oku, Satoru Demura, Daisuke Tawara 他	脊椎・脊髄外科	Biomechanical investigation of long spinal fusion models using three-dimensional finite element analysis	BMC Musculoskelet Disord	Original Article
29	Kenshu Nogami, Kouishi Misaki, Taishi Tsutsui et al.,	脳神経外科	The first coil embolization ratio is the key factor for retreatment for unruptured cerebral aneurysms.	Surgical Neurology International 14:53, 2023 Feb	Original Article

30	Taishi Tsustui, Kouishi Misaki, Akifumi Yoshikawa et al.,	脳神経外科	Targeted transvenous embolization of a dural arteriovenous fistula at the jugular tubercle venous complex.	Surgical Neurology International 14:44, 2023 Feb	Case report
31	Cui S, Hayashi K, Kobayashi I, Hosomichi K,et al.	循環器内科	The utility of zebrafish cardiac arrhythmia model to predict the pathogenicity of KCNQ1 variants	Journal of Molecular and Cellular Cardiology. 2023 Apr;177:50-61.	Original Article
32	Ayano Shima, Kenji Sakai, Fumio Yamashita, et al.	脳神経内科	Vacuoles related to tissue neuron-astrocyte ratio and infiltration of macrophages/monocytes contribute to hyperintense brain signals on diffusion-weighted magnetic resonance imaging in sporadic Creutzfeldt-Jakob disease.	Journal of the Neurological Sciences 2023 Apr, 15:447:120612	Original Article
33	Masashi Taka,Satoshi Kobayashi,Kaori Mizutomi 他	放射線科	Diagnostic approach for mediastinal masses with radiopathological correlation.	Eur J Radiol.2023 May;162:110767	Review
34	Tada H, Nomura A, Nohara A,et al.	循環器内科	Attainment of the low-density lipoprotein cholesterol treatment target and prognosis of heterozygous familial hypercholesterolemia	Atherosclerosis. 2023 Apr;371:61-66	Original Article
35	Takeo Matsumoto, Takuma Suzuki, Mitsuhiro Nakamura 他	産科婦人科	Androgen promotes squamous differentiation of atypical cells in cervical intraepithelial neoplasia via an ELF3-dependent pathway.	Cancer Med 12(9):10816-10828, 2023 May.	Original Article
36	Hayashi K, Inaki N, Sakimura Y,et al.	消化管外科	Pancreatic thickness as a predictor of postoperative pancreatic fistula after laparoscopic or robotic gastrectomy	Surg Endosc	Original Article
37	Noguchi K, Ikawa Y, Takenaka M 他	小児科	L-asparaginase as an efficient salvage therapy for refractory acute myeloid leukemia with chromosome 7 abnormalities: a case series.	Int J Hematol. 2023 Sep;118(3):406-410.	Case report
38	Tomoyuki Hayashi, Yoshiro Asahina, Yasuhito Takeda 他	消化器内科	Necessity of pharyngeal anesthesia during transoral gastrointestinal endoscopy: a randomized clinical trial.	Clin Endosc. 2023 Sep;56(5):594-603. (オンライン)	Original Article
39	Yasuo Sasagawa, Mitsutaka Nakahara, Daisuke Takemoto et al.,	脳神経外科	Optical coherence tomography detects early optic nerve damage before visual field defect in patients with pituitary tumors.	Neurosurgical Review 46(1)85, 2023 Apr	Original Article
40	Yohei Asano , Norio Yamamoto , Satoru Demura 他	整形外科	Novel predictors of immune checkpoint inhibitor response and prognosis in advanced non-small-cell lung cancer with bone metastasis	Cancer Med	Original Article
41	Nakagawa R, Nohara T, Naito R他	泌尿器科	Intravesical BCG therapy with photodynamic diagnosis-guided transurethral resection of bladder tumors improves recurrence-free survival	Photodiagnosis Photodyn Ther. 2023 Jun;42:103574.	Original Article
42	Sei Morinaga, Norio Yamamoto, Katsuhiko Hayashi 他	整形外科	Kimura's Disease Diagnosed in the Department of Orthopedic Surgery Treated With Wide Excision: Report of Two Cases	In Vivo	Case report
43	Makino T, Izumi K, Iwamoto H他	泌尿器科	Sarcopenia Is Associated With Aggressive Clinicopathological Outcomes and Is a Poor Prognostic Indicator for Non-metastatic Renal Cell Carcinoma	In Vivo. 2023 May-Jun;37(3):1304-1311.	Original Article
44	Tetsumori Yamashima, Yurie Mori, Mitsuru Kikuchi 他	神経科精神科	Vegetable Oil-Peroxidation Product 'Hydroxynonenal' Causes Hepatocyte Injury and Steatosis via Hsp70.1 and BHMT Disorders in the Monkey Liver. /15(8)	Nutrients 2023.4	Original Article

45	Ito Y, Nakade J, Seki A 他	薬剤部	Case report: therapeutic monitoring of vancomycin in an acute liver failure patient with anuria under high-flow continuous hemodiafiltration	J Pharm Health Care Sci. 2023 May;9:15	Case report
46	Sho Tamai, Toshiya Ichinose, Shabierjiang Jiapear et al.,	脳神経外科	Therapeutic potential of pentamidine for glioma-initiating cells and glioma cells through multimodal antitumor effects.	Cancer Science 114(7):2920-2930, 2023 Jul	Original Article
47	Yushin Mizuno, Junsuke Nakase, Kazuaki Yoshioka, et al.	リハビリテーション部	Differences in collagen types in the semitendinosus, quadriceps, and patellar tendons: A report using samples from an 11-year old patient.	The Knee 42: 339-346, 2023 June	Case report
48	Satoshi Kato, Satoru Demura, Ryo Kitagawa 他	脊椎・脊髄外科	Clinical outcomes following total en bloc spondylectomy for spinal metastases from lung cancer	J Orthop Sci	Original Article
49	Yoshitomo Saiki, Tamon Kabata, Tomohiro Ojima 他	整形外科	Reliability and validity of pose estimation algorithm for measurement of knee range of motion after total knee arthroplasty	Bone Joint Res	Original Article
50	Munehiro Demura, Hiroshi Ishii, Mika Takarada-Imata et al.,	脳神経外科	Sympathetic Nervous Hyperactivity Impairs Microcirculation Leading to Early Brain Injury After Subarachnoid Hemorrhage.	Stroke 54(6):1645-1655, 2023 Jun	Original Article
51	Yamamoto D, Kotake M, Ishibayashi K, et al.	消化管外科	Robot-assisted low anterior resection for a rectal cancer patient with ileal conduit: A case report	Asian J Endosc Surg	Case report
52	Hara J, Yamamura K, Sakai T, 他	呼吸器内科	Bronchial thermoplasty attenuates cough reflex sensitivity in severe asthma: A single-center retrospective study with 2-year follow-up.	J Med Invest. 70(1.2):271-275	Original Article
53	Yoshida K, Takamatsu A, Toshima F, 他	放射線科	Computer-Aided Detection of Subsolid Nodules on Chest Computed Tomography: Assessment of Visualization on Vessel-Suppressed Images	J Comput Assist Tomogr 47(3):412-417,2023	Original Article
54	Tada H, Kojima N, Yamagami K et al.	循環器内科	Coronary artery calcium among patients with heterozygous familial hypercholesterolaemia	Eur Heart J Open. 2023 May 3;3(3):oead046	Original Article
55	Moeko Noguchi-Shinohara, Hidetomo Murakami, Yasuhiro Sakashita, et al.	脳神経内科	Plasma amyloid-beta biomarkers are associated with Alzheimer's disease comorbidity in Lewy body disease.	Parkinsonism & Related Disorders 2023 Jun, 111:105445	Others
56	Atsushi Taninaka, Tamon Kabata, Katsuhiko Hayashi 他	整形外科	Chondroprotective Effects of Chondrogenic Differentiated Adipose-Derived Mesenchymal Stem Cells Sheet on Degenerated Articular Cartilage in an Experimental Rabbit Model	Bioengineering (Basel)	Original Article
57	Nomura A.	循環器内科	Digital health, digital medicine, and digital therapeutics in cardiology: current evidence and future perspective in Japan	Hypertension Research. 2023 May 31:1-9.	Original Article
58	Maki Sakaguchi, Riho Nakajima, Toshiya Ichinose et al.,	脳神経外科	-SMA positive vascular mural cells suppress cyst formation in hemangioblastoma.	Brain Tumor Pathology 40(3):176-184, 2023 Jul.	Original Article
59	Moeko Noguchi-Shinohara, Kunihiko Yokoyama, Junji Komatsu, et al.	脳神経内科	Exercise program to reduce the risk of cognitive decline and physical frailty in older adults: study protocol for an open label double-arm clinical trial.	Front Aging Neurosci 2023 May, 19:15:1162765	Original Article

60	Yuta Yamamura, Norihiko Sakai, Yasunori Iwata 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Myocardin-related transcription factor contributes to renal fibrosis through the regulation of extracellular microenvironment surrounding fibroblasts.	FASEB J. 37(7): e23005, 2023 Jul.	Original Article
61	Yoshida S, Nakata T, Nakajima K, et al.	循環器内科	Prognostic Implications of Sarcoidosis Granulomas - Insights From the Multicenter Registry, the Japanese Cardiac Sarcoidosis Prognostic Study	Circ Rep. 2023 Apr 28;5(6):252-259.	Original Article
62	Shunsuke Tsuge, Ichiro Mizushima, Makoto Horita 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	High serum IgA levels in patients with IgG4-related disease are associated with mild inflammation, sufficient disease-specific features, and favourable responses to treatments.	Mod Rheumatol. 34(3): 621-631, 2024 Mar.	Original Article
63	Hayashi K, Inaki N, Sakimura Y, et al.	消化管外科	Using LAP PROTECTOR™ to prevent subcutaneous emphysema after robotic gastrectomy	J Robot Surg	Original Article
64	Satoshi Nomura, Takashi Hosono, Masanori Ono 他	産科婦人科	Desynchronization between Food Intake and Light Stimulations Induces Uterine Clock Quiescence in Female Mice.	J Nutr 153(8):2283-2290, 2023 Aug.	Original Article
65	Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T, et al.	循環器内科	In-hospital outcomes after SAVR or TAVI in patients with severe aortic stenosis	Cardiovasc Interv Ther. 2024 Jan;39(1):65-73.	Original Article
66	Tetsu Hirosawa, Masafumi Kameya, Mitsuru Kikuchi 他	子どものこころの診療科	Effect of transcranial direct current stimulation on the functionality of 40 Hz auditory steady state response brain network: graph theory approach.	Frontiers in psychiatry 2023.6	Original Article
67	Izumi K.	泌尿器科	Editorial for the Special Issue on High-Risk Localized and Locally Advanced Prostate Cancer	Cancers (Basel). 2023 Jun 11;15(12):3153.	Letter
68	Makino T, Izumi K, Iwamoto H 他	泌尿器科	Combination of Sarcopenia and Hypoalbuminemia Is a Poor Prognostic Factor in Surgically Treated Nonmetastatic Renal Cell Carcinoma	Biomedicines. 2023 Jun 1;11(6):1604.	Original Article
69	Moeko Noguchi-Shinohara, Kenjiro Ono.	脳神経内科	The mechanisms of the roles of alpha-synuclein, amyloid-beta, and tau protein in the Lewy body diseases: pathogenesis, early detection, and therapeutics.	International journal of molecular sciences 2023 Jun, 24:10215	Review
70	Masafumi Kawai, Satoru Demura, Satoshi Kato 他	脊椎・脊髄外科	The Impact of Frailty on Postoperative Complications in Total En Bloc Spondylectomy for Spinal Tumors	J Clin Med	Original Article
71	Seigo Konishi, Mitsuhiro Kometani, Ko Aiga, et al.	内分泌・代謝内科	Using telemedicine to manage a patient with a hypertensive emergency due to pheochromocytoma	Endocrinol Diabetes Metab Case Rep. 2023 Jul 4; 2023(3): 23-0033.	Case report
72	Terashima T, Yamashita T, Takemura N, 他	消化器内科	A case of frequent hypoglycemic attacks successfully controlled with capecitabine plus temozolomide and 177Lu-DOTATATE peptide receptor radionuclide therapy in a patient with recurrent pancreatic insulinoma.	Clin J Gastroenterol. 2023 Oct;16(5):767-771.	Others
73	Orita N, Kawaguchi K, Honda M, 他	消化器内科	Aldo-keto reductase family 1 member B10 is regulated by nucleos(t)ide analogues for chronic hepatitis B.	Biochem Biophys Res Commun. 2023 Sep;674:133-139.	Others
74	Takuya Sengoku, Junsuke Nakase, Yushin Mizuno 他	リハビリテーション部	Outcome comparison of femoral nerve block and adductor canal block during anterior cruciate ligament reconstruction: adductor canal block may cause an unexpected decrease in knee flexor strength at 6 months postoperatively	Archives of Orthopaedic and Trauma Surgery 143(10):6305-6313, 2023 Oct.	Original Article

75	Tadashi Toyama, Miho Shimizu, Taihei Yamaguchi 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	A comprehensive risk factor analysis using association rules in people with diabetic kidney disease.	Sci Rep. 13(1): 11690, 2023 Jul.	Original Article
76	Kazuki Fujita, Keishi Mizuguchi, Tatuya Mori 他	病理部	SMARCB1 / INI1-deficient intrathoracic neoplasm with rhabdoid/plasmacytoid cytomorphology in a patient with plasma cell myeloma: A case report.	Diagn Cytopathol. 2023 Oct; 51(10): E294-E300.	Case report
77	Miho Shimizu, Kengo Furuichi, Tadashi Toyama 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Polar vasculosis is associated with better kidney outcome in type 2 diabetes with biopsy-proven diabetic kidney disease: A multicenter cohort study.	J Diabetes Investig. 14(11): 1268-1278, 2023 Nov.	Original Article
78	Megumi Oshima, Tadashi Toyama, Yusuke Nakade 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Association Between Risperidone Use and Kidney Function Decline in Patients with Schizophrenia: A Retrospective Cohort Study.	Clin Ther. 45(9): 889-893, 2023 Sep.	Original Article
79	Takeshi Zoshima, Sun Hirayama, Mitsuhiro Kawano.	腎臓・リウマチ膠原病内科	Atypical Baker's cysts in difficult-to-treat rheumatoid arthritis.	Int J Rheum Dis. 26(11): 2328-2329, 2023 Nov.	Case report
80	Tatsuhito Kanda, Kyosuke Kagami, Takashi Iizuka 他	産科婦人科	Spheroid formation induces chemokine production in trophoblast-derived Swan71 cells.	Am J Reprod Immunol 90(2): e13752, 2023 Aug.	Original Article
81	Ueno M, Yoshida K, Takamatsu A, 他	放射線科	Deep learning-based automatic detection for pulmonary nodules on chest radiographs: The relationship with background lung condition, nodule characteristics, and location	Eur J Radiol. 2023 Sep; 166: 111002. doi: 10.1016/j.ejrad.2023.111002. オンライン	Original Article
82	Noriaki Yokogawa, Satoshi Kato, Takaki Shimizu 他	脊椎・脊髄外科	Clinical Outcomes of Total En Bloc Spondylectomy for Previously Irradiated Spinal Metastases: A Retrospective Propensity Score-Matched Comparative Study	J Clin Med	Original Article
83	Matsui R, Inaki N, Tsuji T.	消化管外科	Impact of Preoperative Nutritional Assessment on Other-Cause Survival after Gastrectomy in Patients with Gastric Cancer	Nutrients	Original Article
84	Chie Shimaguchi, Keishi Mizuguchi, Kasuki Fujita 他	病理部	Cytological examination of peripheral blood cell block to diagnose small cell variant ALK-positive anaplastic large cell lymphoma.	Cytopathology. 2023 Nov; 34(6): 626-629.	Case report
85	Sakai Y, Ikawa Y, Takenaka M 他	小児科	A case of neurodegenerative Langerhans cell histiocytosis exhibiting high osteopontin in cerebrospinal fluid without specific radiological abnormalities.	Int J Hematol. 2023 Nov; 118(5): 661-665.	Case report
86	Yuki Makino, Ohno Naoki, Toshiaki Miyachi, et al.	放射線部	Tri- and bi-exponential diffusion analyses of the kidney: effect of respiratory-controlled acquisition of diffusion parameters	Radiological Physics and Technology 16(4): 478-487. 2023 Dec	Original Article
87	Akinori Hara, Hiromasa Tsujiguchi, Keita Suzuki, et al.	腎臓・リウマチ膠原病内科	Distinct associations between dietary omega-3 and omega-6 fatty acids intake with chronic kidney disease in adults with and without diabetes: A cross-sectional study	Nutrition. 2023 Nov; 115: 112156.	Original Article
88	Nakanuma S, Gabata R, Okazaki M, et al.	肝胆膵・移植外科	Hemophagocytic Lymphohistiocytosis With Elevated Cytokines Related to Macrophage Activation After Liver Transplantation for Autoimmune Hepatitis: A Case Report	Transplant Proc	Case report
89	Koroku Kato, Hiroki Miyazawa, Shuichi Kawashiri 他	歯科口腔外科	The pattern and spread of invasion can predict late cervical lymph node metastasis in early tongue squamous cell carcinoma	Diagnostic Pathology 18(1): 87, 2023 Aug.	Original Article

90	Okamoto K, Saito H, Shimada M, et al.	消化管外科	Successful treatment of nonocclusive mesenteric ischemia in a reconstructed jejunum after esophagectomy and remnant gastric tube resection: a case report	Surg Case Rep	Case report
91	Shinji Miwa, Norio Yamamoto, Katsuhiko Hayashi 他	整形外科	Graft Survivals after Reconstruction Using Tumor-Bearing Frozen Bone in the Extremities	Cancers (Basel)	Original Article
92	Yamaguchi T, Okamoto K, Saito H, et al.	消化管外科	Impact of preoperative docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil (DCF) therapy on degree of malignant esophageal stenosis	BMC Gastroenterol	Original Article
93	Okamoto K, Inaki N, Saito H, et al.	消化管外科	Analysis of factors associated with operative difficulty in thoracoscopic esophageal cancer surgery in the left-decubitus position: a single-center retrospective study	BMC Surg	Original Article
94	Watanabe S, Nakajima K, Toshima F 他	核医学診療科	Transthyretin amyloid cardiomyopathy disease burden quantified using ^{99m} Tc-pyrophosphate SPECT/CT: volumetric parameters versus SUVmax ratio at 1 and 3 hours.	J Nucl Cardiol. 2023 Dec;30(6):2721-2735	Original Article
95	Kitagawa T, Kozaka K, Matsubara T, 他	放射線科	Fat fraction and R2 * values of various liver masses: Initial experience with 6-point Dixon method on a 3T MRI system	Eur J Radiol Open. 2023 Aug 17;11:100519. doi: 10.1016/j.ejro.2023.100519 オンライン	Original Article
96	Shinji Miwa, Norio Yamamoto, Katsuhiko Hayashi 他	整形外科	Case Report: Unresectable pulmonary metastases of a giant cell tumor of bone treated with denosumab: a case report and review of literature	Front Oncol	Case report
97	Shinji Miwa, Tomohiro Tanaka, Hisaki Aiba 他	整形外科	Multiple Bone Cysts Caused by Hyperparathyroidism: A Case Report and Review of the Literature	Cancer Diagn Progn	Case report
98	Nomura A, Okada H, Nohara A, et al.	循環器内科	Impact of providing genetics-based future cardiovascular risk on LDL-C in patients with familial hypercholesterolemia	Journal of Clinical Lipidology. 2023 Sep-Oct;17(5):622-632.	Original Article
99	Shigehara K, Izumi K, Nakashima K 他	泌尿器科	Efficacy of keishibukuryogan for hot flashes in prostate cancer patients receiving androgen deprivation therapy: a sub-analysis focusing on hormonal and cytokine levels	Transl Androl Urol. 2023 Aug 31;12(8):1273-1282.	Original Article
100	Yamashita T, Seike T, Mochly-Rosen D, 他	消化器内科	Implication of the cooking oil-peroxidation product "hydroxynonenal" for Alzheimer's disease	Front Aging Neurosci. 2023 Aug;15:1211141.	Review
101	Takamatsu A, Yoshida K, Watanabe S, 他	放射線科	Comparison of 18 F-FDG PET Findings of Pegfilgrastim-Induced Aortitis With Other Types of Large-Vessel Vasculitis : A Retrospective Observational Study	Clin Nucl Med 48(12):1028-1034,2023	Original Article
102	Takuma Suzuki, Takashi Iizuka, Kyosuke Kagami 他	産科婦人科	Laeverin/aminopeptidase Q induces indoleamine 2,3-dioxygenase-1 in human monocytes.	iScience 26(9):107692,2023 Sep.	Original Article
103	Tada H, Yamagami K, Sakata K, et al.	循環器内科	Healthy lifestyle, lipoprotein (a) levels and the risk of coronary artery disease	Eur J Clin Invest. 2024 Jan;54(1):e14093	Original Article
104	Kengo Shimozaki, Junsuke Nakase, Tomoyuki Kanayama 他	整形外科	Ultrasonographic diagnosis of medial meniscus posterior root tear in early knee osteoarthritis: a comparative study	Arch Orthop Trauma Surg	Original Article

105	Takashi Higuchi , Norio Yamamoto, Katsuhiko Hayashi 他	整形外科	High Clinical Concordance of Drug Resistance in Patient-derived Orthotopic Xenograft (PDOX) Mouse Models: First Step to Validated Precise Individualized Cancer Chemotherapy	Anticancer Res	Original Article
106	Kano H, Izumi K, Nakagawa R他	泌尿器科	Role of Positive Biopsy Core Ratio in Prostate Cancer Patients	Anticancer Res. 2023 Oct;43(10):4619-4626.	Original Article
107	Makoto Handa, Satoru Demura, Noriaki Yokogawa 他	脊椎・脊髄外科	Characteristics of Scoliosis in Mice Induced by Chondrocyte-specific Inactivation of L-type Amino Acid Transporter 1	Spine	Original Article
108	Kozaka K , Matsui O	放射線科	MRI Biomarkers and Their Future Impact on Nonalcoholic Fatty Liver Disease	Radiology 309(1)e232420.2023 オンライン	Others
109	Makoto Yamamoto, Takeshi Terashima, Tatsuya Yamashita 他	消化器内科	Successful second-line treatment with cabozantinib for hepatocellular carcinoma harboring cytoplasmic mesenchymal-epithelial transition factor amplification	Hepatol Res. 2024 Mar;54(3):315-319.	Case report
110	Riho Nakajima, Masashi Kinoshita, Hirokazu Okita et al.,	脳神経外科	Glioblastomas at the white matter of temporo-parietal junction cause a poor postoperative independence level.	Journal of Neurooncology 165(1):191-199, 2023 Oct	Original Article
111	Takuya Sengoku, Junsuke Nakase, Yushin Mizuno 他	整形外科	Limited preoperative knee extension in anterior cruciate ligament reconstruction using a hamstring tendon affects improvement of postoperative knee extensor strength	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Original Article
112	Takuya Sengoku, Junsuke Nakase, Yushin Mizuno 他	リハビリテーション部	Limited preoperative knee extension in anterior cruciate ligament reconstruction using a hamstring tendon affects improvement of postoperative knee extensor strength	Knee Surgery Sports Traumatology Arthroscopy 31(12):5621-5628, 2023 Dec.	Original Article
113	Hamaguchi Y, Yoshimura Y, Horii M 他	皮膚科	Absence of interstitial lung disease at initial visit may predict a favorable outcome for Japanese patients with systemic sclerosis with anti-topoisomerase I antibody	J Dermatol 51(1):62-69,2024 Jan.	Original Article
114	Tsuda T, Hayashi K, Kato T,et al.	循環器内科	Hypertrophic Cardiomyopathy Predicts Thromboembolism and Heart Failure in Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation - A Prospective Analysis From the Hokuriku-Plus AF Registry.	Circ J. 2023 Nov 24;87(12):1790-1797.	Original Article
115	Yoshida K, Takamatsu A, Matsubara T, 他	放射線科	Deep learning-based cardiothoracic ratio measurement on chest radiograph: accuracy improvement without self-annotation	Quant Imaging Med Surg 13(10):6546-6554,2023	Original Article
116	Satoshi Hara, Misaki Yoshida, Hajime Sanada 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Pediatric IgG4-related disease: a descriptive review.	Expert Rev Clin Immunol. 20(1): 97-119, 2024 Jan-Jun.	Review
117	Yumie Takeshita, Chiaki Nomura, Hisayoshi Murai, et al.	内分泌・代謝内科	Study Protocol for the Pleiotropic Effects of Sodium-Glucose Cotransporter 2 Inhibitor on Organ-Specific Sympathetic Nerve Activity and Insulin Sensitivity in Participants with Type 2 Diabetes	Diabetes Ther. 2024 Jan; 15(1): 269-280.	Original Article
118	Daisuke Inoue, Tamon Kabata, Yoshitomo Kajino 他	整形外科	Influence of greater trochanteric bone density and three-dimensional morphology on perioperative greater trochanteric fracture following total hip arthroplasty via an anterolateral approach	BMC Musculoskelet Disord 2023 Oct 31;24(1):856.doi: 10.1186/s12891-023-06988-5.	Original Article
119	Tada H, Kaneko H, Suzuki Y, et al.	循環器内科	Familial hypercholesterolemia is related to cardiovascular disease, heart failure and atrial fibrillation. Results from a population-based study.	Eur J Clin Invest. 2024 Feb;54(2):e14119	Original Article

120	Takashi Yamamoto, Shun Kunomura, Takumi Taniguchi	麻酔科蘇生科	Cytokine Adsorption Effects of a Novel Hemofiltration Column for the Treatment of Experimental Endotoxemia	Blood Purification 53(1):61-70, 2024	Original Article
121	Keigo Yuasa, Tetsu Hirose, Mitsuru Kikuchi 他	神経科精神科	Eyes-state-dependent alterations of magnetoencephalographic connectivity associated with delayed recall in Alzheimer's disease via graph theory approach.	Frontiers in psychiatry 2023.10	Original Article
122	Kanu Shimokawa, Hidenori Matsubara, Toshifumi Hikichi 他	整形外科	Bone Transport with the Taylor Spatial Frame Technique: A Case Series	Strategies Trauma Limb Reconstr	Original Article
123	Hiroyuki Kawahara, Ichiro Mizushima, Yasushi Matsumoto 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Solitary recurrence of IgG4-related giant coronary aneurysm: Case report and review of the literature focusing on treatment strategies and complications.	Mod Rheumatol Case Rep. 8(1): 182-194, 2023 Dec.	Case report
124	Tada H, Nohara A, Usui S, et al.	循環器内科	Impact of the severe familial hypercholesterolemia status on atherosclerotic risks	Sci Rep. 2023 Nov 13;13(1):19782	Original Article
125	Kazuki Asai, Junsuke Nakase, Toru Kuzumaki 他	整形外科	Differences in the microstructural and mechanical qualities of semitendinosus tendon grafts between skeletally immature and mature patients in anterior cruciate ligament reconstruction	J Orthop Sci	Original Article
126	Toshinari Takamura, Kohei Kaku, Akihiro Yoshida, et al.	内分泌・代謝内科	Reductions in liver enzymes are associated with anti-hyperglycaemic and anti-obesity effects of tofogliflozin in people with type 2 diabetes: Post-hoc analyses	Endocrinol Diabetes Metab. 2024 Jan; 7(1): e461.	Original Article
127	Yuta Sakai, Yasuhiro Ikawa, Mika Takenaka 他	小児科	Histopathological maturation in juvenile xanthogranuloma: a blueberry muffin infant mimicking aleukemic leukemia cutis.	Int J Hematol. 2024 Jan; 119(1):93-98.	Case report
128	Takeshi Zoshima, Satoshi Hara, Kazuyuki Suzuki 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Long-term outcomes of lupus nephritis with low-level proteinuria: a multicenter, retrospective study.	Rheumatology (Oxford). kead624, 2023 Nov.	Original Article
129	Saeki M, Munesue S, Higashi Y, et al.	肝胆膵・移植外科	Assaying ADAMTS13 Activity as a Potential Prognostic Biomarker for Sinusoidal Obstruction Syndrome in Mice.	Int J Mol Sci	Original Article
130	Takuya Sengoku, Junsuke Nakase, Rikuto Yoshimizu 他	リハビリテーション部	Preoperative psychological competitive ability has little relationship with subjective knee function and return to sports at 6 months postoperatively in patients with anterior cruciate ligament reconstruction	Asia-Pacific Journal of Sports Medicine, Arthroscopy, Rehabilitation and Technology 6:35:9-14 2023, Nov.	Original Article
131	Takamatsu A, Ueno M, Yoshida K, 他	放射線科	Performance of artificial intelligence-based software for the automatic detection of lung lesions on chest radiographs of patients with suspected lung cancer	Jpn J Radiol. 2024 Mar; 42(3):291-299.	Original Article
132	Ishida N, Oshima Y, Katsura A 他	薬剤部	Application Site of Transdermal Scopolamine Influences Efficacy and Drug Concentration in Salivary Glands in Rats	Biol Pharm Bull. 2023 Dec; 46(12):1805-1809	Original Article
133	Sakurai T, Takamatsu S, Shibata S, 他	放射線治療科	Factors Affecting Prostate Displacement During Volumetric Modulated Arc Therapy in Prone Position After High-Dose-Rate Brachytherapy for Prostate Cancer	Adv Radiat Oncol. 2023 May 29; 8(6):101277. doi: 10.1016/j.adro.2023.101277. eCollection 2023 Nov-Dec. オンライン	Original Article
134	Hajime Sanada, Satoshi Hara, Makoto Horita 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	De novo normotensive scleroderma renal crisis six years after living-donor renal transplantation in a patient with overlapping systemic sclerosis/systemic lupus erythematosus syndrome: a case report.	BMC Nephrol. 24(1): 355, 2023 Dec.	Case report

135	Yokoyama T, Sakumura N, Inoue N 他	小児科	Oligomeganephronia with PAX2 gene deletion diagnosed at the third renal biopsy: a case report.	J Nephrol. 2024 Mar;37(2):495-499.	Case report
136	Tada H, Kaneko H, Suzuki Y, et al.	循環器内科	Association between remnant cholesterol and incident atherosclerotic cardiovascular disease, heart failure, and atrial fibrillation	J Clin Lipidol. 2024 Jan-Feb;18(1):3-10	Original Article
137	Satomi Kasashima,Atuhiro Kawashima,Nozomu Kurose 他	保健学科	Disordered Balance of T-Cell Subsets in Arterial Tertiary Lymphoid Organs in Immunoglobulin G4-Related Vascular Disease.	J Am Heart Assoc.2023 Dec 19;12(24):e030356.	Original Article
138	Misaki Yoshida, Satoshi Hara, Ryo Nishioka 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Development of Remitting Seronegative Symmetrical Synovitis with Pitting Edema Syndrome with Pembrolizumab for Lung Squamous Cell Carcinoma: A Case Report.	Intern Med. doi: 10.2169/internalmedicine.2475-23, 2023 Dec.	Case report
139	Kosuke Nambu, Kouishi Misaki, Takehiro Uno et al.,	脳神経外科	Periprocedural antiplatelet medication assessed by VerifyNow for neuroendovascular treatment: Comparison of prasugrel with clopidogrel.	Interventional Neuroradiology 11:15910199231219019, 2023 Dec	Original Article
140	Satoshi Kato, Satoru Demura, Kazuya Shinmura 他	脊椎・脊髄外科	Reply to the Editor Regarding the Article: A Modified Spinal Reconstruction Method Reduces Instrumentation Failure in Total En Bloc Spondylectomy for Spinal Tumors	Spine Surg Relat Res	Original Article
141	Yoshikazu Goto	救急科	Cardiac arrest centre accreditation in Germany: A game-changer for favourable neurological outcomes after cardiac arrest	Resuscitation 194110090, 2024 Jan	Others
142	Munehiro Demura, Riho Nakajima, Shingo Tanaka et al.,	脳神経外科	Mentalizing can be impaired in patients with meningiomas originating in the anterior skull base.	World Neurosurgery 16:S1878-8750(23)01790-4, 2023 Dec	Original Article
143	Hayashi T, Kitamura K, Usami M, 他	消化器内科	Novel Utility of Leucine-Rich Alpha-2-Glycoprotein as a Biomarker in Ulcerative Colitis: A Predictor of Endoscopic Remission Independent of Symptoms	Inflamm Intest Dis 2023 Oct 5;8(4):133-142.	Others
144	Sugimoto H, Toya T, Watanabe Y, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Widebanded frequency impedance for diagnosis of ossicular chain abnormality	Acta otolaryngologica 2023 Nov-Dec;143(11-12):958-964	Original Article
145	Noguchi K, Ikawa Y.	小児科	Strategy for Pediatric Patients with Relapsed or Refractory Anaplastic Lymphoma Kinase-Positive Anaplastic Large Cell Lymphoma: A Review.	Cancers (Basel). 2023 Dec 7;15(24):5733.	Review
146	Takeji Y, Tada H, Ogura M, et al.	循環器内科	Clinical Characteristics of Homozygous Familial Hypercholesterolemia in Japan: A Survey Using a National Database.	JACC Asia. 2023 Sep 19;3(6):881-891.	Original Article
147	Yuta Nakamura, Kaoru Tada, Mika Akahane 他	整形外科	Medium-term Outcomes of Excision Using Surgical Microscope of Tenosynovial Giant Cell Tumors of the Hand	Anticancer Res	Original Article
148	Ryotaro Wajima,Tomomi Higashide,Kazuhisa Sugiyama	眼科	Ex-PRESS shunt combined with ab-interno peripheral iridectomy: A new surgical procedure for iridocorneal endothelial syndrome.	American Journal of Ophthalmology Case Reports. 2023 Dec.;32:101887,2023	Original Article
149	Trang Anh Thi Tran, Yasunori Iwata, Linh Thuy Hoang 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Protective Role of MAVS Signaling for Murine Lipopolysaccharide-Induced Acute Kidney Injury.	Immunohorizons. 8(1): 1-18, 2024 Jan.	Original Article

150	Keijiro Shomura, Tomoya Kamide, Takehiro Uno et al.,	脳神経外科	Recurrence of an extracranial internal carotid artery aneurysm treated with STA-MCA bypass and trapping due to neovascularization from an ascending pharyngeal artery: illustrative case.	Journal of Neurosurgery Case Lessons 7(2):CASE23617, 2024 Jan	Case report
151	Shimada T, Kawakami D, Fujita A 他	薬剤部	Validation of an automated sample preparation module directly connected to LC-MS/MS (CLAM-LC-MS/MS system) and comparison with conventional immunoassays for quantitation of tacrolimus and cyclosporin A in a clinical setting.	J Pharm Health Care Sci. 2024 Jan;10:5	Original Article
152	Hiroka Yamazaki, Yasunori Iwata, Akiko Maekawa 他	検査部	A Japanese Case of COVID-19 Caused by Omicron Strain with Y 453F Substitution.	Rinsho Biseibutshu Jinsoku Shindan Kenkyukai Shi 33(1):19-21,2023 Dec.	Others
153	Hayashi T, Hayashi K, Terashima T, 他	消化器内科	Photodynamic therapy with talaporfin sodium for endoscopically unresectable gastric cancer using a novel simultaneous light-emitting method	DEN Open 2024 Jan 23:e334. ;4(1):e334.	Case report
154	Yoshizaki T, Kondo S, Dochi H, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Recent Advances in Assessing the Clinical Implications of Epstein-Barr Virus Infection and Their Application to the Diagnosis and Treatment of Nasopharyngeal Carcinoma	Microorganisms 2023 Dec 20;12(1):14 (オンライン)	Review
155	Kojima N, Tada H, Nomura A, et al.	循環器内科	Putative Pathogenic Variants of ABCG5 and ABCG8 of Sitosterolemia in Patients With Hyper-Low-Density Lipoprotein Cholesterol	Journal of Lipid and Atherosclerosis. 2024 Jan;13(1):53-60.	Original Article
156	Ichiro Mizushima, Takako Saeki, Daisuke Kobayashi 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Improved Renal Function in Initial Treatment Improves Patient Survival, Renal Outcomes, and Glucocorticoid-Related Complications in IgG4-Related Kidney Disease in Japan.	Kidney Int Rep. 9(1): 52-63, 2023 Oct.	Original Article
157	Ikawa Y, Nakamura T, Fujino N 他	小児科	A case of MYH7 and MYH9 genes variants with cardiomyopathy and macrothrombocytopenia.	Clin Case Rep. 2024 Feb 1;12(2):e8304.	Case report
158	Tsuji T, Okamoto K, Saito H, et al.	消化管外科	Thoracoscopic endoscopic cooperative surgery for gastric tube cancer after esophagectomy: a case report	J Surg Case Rep	Case report
159	Noriaki Yokogawa, Satoru Demura, Tetsuya Ohara 他	脊椎・脊髄外科	Instrumentation failure following pediatric spine deformity growth-sparing surgery using traditional growing rods or vertical expandable prosthetic titanium ribs	BMC Musculoskelet Disord	Original Article
160	Toshiaki Tokumaru, Tadashi Toyama, Yusuke Nakade 他	栄養管理部	Design and rationale for an open-label, randomized, controlled pilot trial to evaluate the changes in blood uremic toxins in patients with chronic kidney disease by dietary therapy with sake lees	Clin Exp Nephrol. 2024 May;28(5):440-446. doi: 10.1007/s10157-023-02450-x. Epub 2024 Feb 10.	Original Article
161	Mitsuhiro Kawano.	腎臓・リウマチ膠原病内科	IgG4-related Disease: Recent Topics on Immunological Aspects of This Disorder and Their Application in New Treatment Strategies.	Intern Med. doi: 10.2169/internalmedicine.3154-23, 2024 Feb.	Original Article
162	Tada H, Kojima N, Nomura A, et al.	循環器内科	A Family with Familial Hypobetalipoproteinemia Caused by a c.1468C>T in APOB	Internal Medicine. 2024 Feb 19.	Original Article
163	Kenichiro Okumura, Kazuto Kozaka, Azusa Kitao 他	放射線科	Imaged periductal infiltration: Diagnostic and prognostic role in intrahepatic mass-forming cholangiocarcinoma.	Eur J Radiol Open. 2024 Feb 16;12:100554.	Original Article
164	Yaegashi H, Izumi K, Toriumi R 他	泌尿器科	Procalcitonin in advanced urological cancer-bacterial versus non-bacterial infections: prospective cohort study	BMJ Support Palliat Care. 2024 Feb 23;spcare-2023-004758.	Original Article

165	Kano H, Izumi K, Nakagawa R他	泌尿器科	Bone Turnover Markers, n-Terminal Propeptide of Type I Procollagen and Tartrate-Resistant Acid Phosphatase Type 5b, for Predicting Castration Resistance in Prostate Cancer	Biomedicines. 2024 Jan 26;12(2):292.	Original Article
166	Matsui R, Inaki N , Tsuji T ,et al.	消化管外科	Preoperative Chronic Inflammation Is a Risk Factor for Postoperative Complications Independent of Body Composition in Gastric Cancer Patients Undergoing Radical Gastrectomy	Cancers (Basel)	Original Article
167	Mika Akahane, Kaoru Tada, Masashi Matsuta 他	整形外科	Seasonal variation of surgically treated distal radius fracture in Japan using inpatient database: cross-sectional study	J Bone Miner Metab	Original Article
168	Sei Morinaga, Qinghong Han, Yutaro Kubota 他	整形外科	Extensive Synergy Between Recombinant Methioninase and Eribulin Against Fibrosarcoma Cells But Not Normal Fibroblasts	Anticancer Res	Original Article
169	Aoyama S, Izumi K, Makino T他	泌尿器科	A seed link connector protruding into the bladder formed a bladder stone	IJU Case Rep. 2024 Feb 9;7(2):188-191.	Case report
170	Osana H, Kozaka K, Yoneda N, 他	放射線科	Reactive lymphoid hyperplasia of the liver: A case report featuring characteristic nodular and perinodular enhancement	Radiol Case Rep. 2024 Feb 29;19(5):1998-2003. doi: 10.1016/j.radcr.2024.02.029. eCollection 2024 May.	Case report
171	Takeo Yuno, Yusuke Nakade, Kenji Iino 他	検査部	Motor-Evoked Potential Monitoring With Multitrain Electrical Stimulation During Thoracoabdominal Aortic Aneurysm Surgery	Cureus 16(2),2024 Feb.	Case report
172	Shinji Miwa, Po-Kuei Wu, Hiroyuki Tsuchiya 他	整形外科	Soft Tissue Sarcomas: Treatment and Management	Cancers (Basel)	Review
173	Matsui R, Sagawa M , Inaki N, et al.	消化管外科	Impact of Perioperative Immunonutrition on Postoperative Outcomes in Patients with Upper Gastrointestinal Cancer: A Systematic Review and Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials	Nutrients	Original Article
174	Yoshiki Mizuguchi, Hideyuki Mouri, Takumi Taniguchi 他	麻酔科蘇生科	Clinical Features and Outcomes of Shoshin Beriberi.	International Heart Journal 65(2):271-278, 2024 Mar 30	Original Article
175	Ichiro Mizushima, Noriyasu Morikage, Eisaku Ito 他	腎臓・リウマチ膠原病内科	Validation of the Diagnostic Criteria for IgG4-Related Periaortitis/Periarteritis and Retroperitoneal Fibrosis (IgG4PA/RPF) 2018, and Proposal of a Revised 2023 Version for IgG4-Related Cardiovascular/Retroperitoneal Disease.	Circ J. doi: 10.1253/circj.CJ-24-0026, 2024 Mar.	Original Article
176	Yamazaki M, Takamatsu S, Iwata Y, 他	放射線科	Notch appearance as a novel radiological predictor of transient expansion and good outcome of expanding schwannoma after radiotherapy.	Discov Oncol. 2024 Mar 19;15(1):79. doi: 10.1007/s12672-024-00936-y.	Original Article
177	Yuko Tasaki, Hiroshi Tsujimoto, Tadafumi Yokoyama 他	小児科	Case report: A family of atypical hemolytic uremic syndrome involving a CFH::CFHR1 fusion gene and CFHR3-1-4-2 gene duplication.	Front Immunol. 15: 1360855, 2024 Mar.	Case report
178	Tada H, Kawashiri MA, Nohara A,et al.	循環器内科	Genetic Counseling and Genetic Testing for Familial Hypercholesterolemia	Genes (Basel). 2024 Feb 26;15(3):297	Original Article

179	Sugita H, Nakanuma S, Gabata R, et al.	肝胆膵・移植外科	Clinicopathological features of cholangiocarcinoma and impact of tumor heterogeneity on prognosis: A single institution retrospective study	Oncol Lett	Original Article
180	Sakurai T, Takamatsu S, Shibata S, 他	放射線治療科	Urinary tract symptoms that should be improved to enhance post-operative urinary quality of life in patients treated with low-dose-rate brachytherapy for prostate cancer: An importance-performance analysis.	J Contemp Brachytherapy. 2024 Feb;16(1):12-20. doi: 10.5114/jcb.2024.135646. Epub 2024 Feb 23.	Original Article
181	Kano H, Kadono Y, Naito R 他	泌尿器科	Salvage Androgen Deprivation Therapy as Potential Treatment for Recurrence after Robot-Assisted Radical Prostatectomy	Cancers (Basel). 2024 Mar 27;16(7):1304.	Original Article
182	Shinya Yoshida, Goro Sakurai, Tetsutaro Yahata	リハビリテーション部	Cardiac-output response to exercise after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: a case report with a 2-year follow-up	International Cancer Conference Journal 27;13(3):214-217, 2024 Mar.	Original Article
183	Fushida N, Okamoto Y, Hamaguchi Y 他	皮膚科	A case of IgG4-related skin disease with plaques on the lower legs	J Cutan Immunol Allergy 6(5):183-185, 2023 Oct.	Original Article
184	Satoshi Hara, Kunio Ohta, Daisuke Aono, et al.	腎臓・ウマチ膠原病内科	Feasibility and reliability of the pandemic-adapted online-on-site hybrid graduation OSCE in Japan	Adv Health Sci Educ Theory Pract. 2023 Oct 18 (オンライン)	Original Article
185	Yutaka Kobayashi, Shuichi Kawashiri, Kazuhiro Ooi 他	歯科口腔外科	Targeted inhibition of aggrecanases inhibits the progression of age-dependent cartilage degradation in a temporomandibular joint in the STR/Ort mice.	Journal of Experimental Pathology 104(2):A9, 2023.	Original Article
186	Masuhiko Sano, Tetsu Hirose, Mitsuru Kikuchi 他	神経科精神科	Neural responses to syllable-induced P1m and social impairment in children with autism spectrum disorder and typically developing Peers. / 19(3) e0298020	PloS one 2024	Original Article
187	Shohei Okida, Chika Takada, Makoto Oe 他	看護部	Characteristics of pressure injuries in bedridden older patients at the end of life	Journal of Japanese Society of Wound, Ostomy and Continence Management	Original Article
188	Ikufumi Takahashi, Taro Matsuzaki, Masahiro Hosoi	リハビリテーション部	Histological changes in articular cartilage by exercise	Journal of Wellness and Health Care, 47(1): 11-18, 2023	Review
189	Goro Sakurai, Tadashi Toyama, Yasunori Iwata, et al.	リハビリテーション部	Association between Light-Intensity and Moderate-to-Vigorous-Intensity Physical Activity Habits and Kidney Dysfunction: A General Population Cohort Study	Health & Social Care in the Community, 2023 May (オンライン)	Original Article
190	Yu Takada, Tomoaki Atomi, Shoma Yamamoto, et al.	リハビリテーション部	The effects of different seating conditions on the segmental control of the trunk in walking after sitting activities	Journal of International Exercise Science. 2024;3(1):12-19.	Original Article
~					

計 190件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 手順書の主な内容 審査対象に関する事項、委員会の組織に関する事項、委員会の会議に関する事項、申請手続き及び結果の報告に関する事項、疑義申立てに関する事項、迅速審査に関する事項、実施状況の調査等に関する事項、資料の入手に関する事項、委員会の運営に関する事項、記録の保存に関する事項	
倫理審査委員会の開催状況	年10回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 規定の主な内容 委員会の目的及び職務に関する事項、委員会の組織及び組織運営に関する事項	
利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年7回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年11回
・ 研修の主な内容 臨床研究の研究責任者、研究分担者その他の研究の実施に携わる者又は今後研究の実施に携わ	

る予定の者を対象に、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に関する事項、研究デザインに関する事項、臨床研究の品質保証に関する事項、その他生命科学・医学系研究の実施に当たり必要となる知識・技術等に関連する事項について講習会を実施。

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各専門研修プログラムに沿って各診療科に所属し、大学病院及び連携病院を循環しながら修練を行い、それぞれの専門医、あるいは認定医の資格取得を目指します。
また、診療技術の習得だけでなく臨床研究も行う事が可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 158人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山下 太郎	消化器内科	科長	29年	
篁 俊成	内分泌・代謝内科	科長	36年	
岩田 恭宜	腎臓・リウマチ膠原病内科	科長	24年	
矢野 聖二	呼吸器内科	科長	34年	
高村 雅之	循環器内科	科長	31年	
宮本 敏浩	血液内科	科長	34年	
小野 賢二郎	脳神経内科	科長	27年	
菊知 充	神経科精神科	科長	30年	
和田 泰三	小児科	科長	32年	
小林 聡	放射線科	科長	34年	
高松 繁行	放射線治療科	科長	23年	
松下 貴史	皮膚科	科長	25年	
竹村 博文	心臓血管外科	科長	39年	
松本 勲	呼吸器外科	科長	33年	
稲木 紀幸	消化管外科	科長	27年	
八木 真太郎	肝胆膵・移植外科	科長	27年	
寺川 裕史	乳腺外科	科長	16年	
酒井 清祥	小児外科	科長	22年	
出村 諭	整形外科	科長	29年	
溝上 敦	泌尿器科	科長	37年	
東出 朋巳	眼科	科長	34年	
杉本 寿史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	科長	27年	
山崎 玲奈	産科婦人科	科長	23年	
谷口 巧	麻酔科蘇生科	科長	33年	
中田 光俊	脳神経外科	科長	30年	
絹谷 清剛	核医学診療科	科長	38年	
野村 英樹	総合診療科	科長	36年	
八幡 徹太郎	リハビリテーション科	科長	32年	
岡島 正樹	救急科	科長	28年	
池田 博子	病理診断科	科長	22年	
谷口 巧	集中治療部	部長	33年	
矢野 聖二	がんセンター	センター長	34年	
川尻 秀一	歯科口腔外科	科長	36年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>新規採用職員オリエンテーション（各所属部署での配付資料・動画視聴を用いた学習実施）として、新規採用職員に対し本院職員として職務遂行に必要な知識及び心構え等の基本的な事項を習得させ、資質向上と業務効率の増進を図ることを目的とする。</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>令和5年4月3日（月）～4月21日（金）</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>151名（うち、医師・歯科医師以外の者は124名）</p>
業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>1．情報セキュリティe-ラーニング 2．「個人情報の適切な管理」に関する研修 3．「法人文書管理」に関する研修</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>1．令和5年4月25日（火）～6月30日（金） 2．令和5年7月10日（月）～9月29日（金） 3．令和5年10月20日（金）～12月21日（木）</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>1．1,719名 2．1,605名 3．1,412名</p>
他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<p>・研修の主な内容</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>・研修の参加人数</p>

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 吉崎 智一	
管理担当者氏名	<ul style="list-style-type: none"> ・副病院長（医療安全担当） ・副病院長（ME機器センター長） ・副病院長（看護担当） ・病院長補佐（法務・医療情報担当） ・病院長補佐（薬剤担当） ・放射線部長 ・病院部長 ・総務課長 ・経営管理課長 ・医事課長 	
	山崎 宏人	谷口 巧
	辻 千芽	長瀬 啓介
	崔 吉道	小林 聡
	北村 久美子	東川 純也
	畠中 丈志	山田 浩美

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事課	
		各科診療日誌	医事課	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	医事課	
		看護記録	看護部、医事課	
		検査所見記録	医事課	
		エックス線写真	医事課	
		紹介状	医事課	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	経営管理課、医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課、経営管理課 医薬保健系事務部	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部、医事課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部、医事課
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医事課
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課、ME機器管理センター、放射線部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部、医事課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課、医事課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課、医事課
		職員研修の実施状況	医事課、総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務部		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1.計画 <input type="radio"/> 2.現状 <input checked="" type="radio"/>
閲覧責任者氏名	病院長 吉崎 智一
閲覧担当者氏名	総務課長 東川 純也
閲覧の求めに応じる場所	・ 会議室
閲覧の手続の概要 諸記録の開示(閲覧を含む)を請求する者(以下「開示請求者」)は、国立大学法人金沢大学に対し、法人文書開示請求書を提出する。 国立大学法人金沢大学は、開示請求があった日から特別な場合を除き30日以内に開示決定等を行い、開示請求者に通知する。 開示請求者は、法人文書開示決定通知書を本院へ持参し、閲覧を実施する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延		件
	歯科医師	延		件
	国	延		件
	地方公共団体	延		件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 職員ひとりひとりが安全に関する認識を高め、医療事故防止に積極的に取り組むと同時に、病院全体としても組織的に医療に係る安全管理事故防止に取り組み、医療事故等の未然の防止を目指す。</p> <p>(2) 医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療安全管理者、リスクマネージャー等による医療安全管理体制を整備し、病院全体として医療事故防止及び医療全体の向上に努める。</p> <p>(3) 医療安全管理のための研修を企画し、病院職員全体が2回以上受講できるようにする。</p> <p>(4) 「医療事故防止マニュアル」の作成、医療事故等の報告事例の検討など、医療安全の確保を目的とした改善方策を実施する。</p> <p>(5) 医療事故が発生した場合にはおいては、「医療安全管理マニュアル」に沿って対応し、医療上の最善の処置を講ずる。また、患者家族に対して事実を速やかにわかりやすく説明する。</p> <p>(6) 患者との信頼関係を築くため、また開かれた医療を推進するため、情報の開示及び提供に積極的に対応していく。</p> <p>(7) 患者相談室を設置し、患者及び家族からの医療安全に関する要望、苦情及び不満を真摯に受け止め、その解決に尽力する。</p>	
医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 開催状況：年 13 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること。</p> <p>(2) 医療事故防止対策に関すること。</p> <p>(3) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。</p> <p>(4) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。</p> <p>(5) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。</p> <p>(6) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。</p> <p>(7) 安全管理のための教育及び研修に関すること。</p> <p>(8) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。</p> <p>(9) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う。</p>	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の内容 (すべて)：</p> <p>対面及びE-learningにて実施 医療安全管理マニュアル最近の改訂ポイント2023/当院における高難度新規医療技術等の運用 (対面開催日2023.10.11、E-learning 2023.10.19-2024.3.31)</p> <p>安全・安心な人工呼吸管理とモニタリングに向けて/本院の毒薬・劇薬 毒物・劇物の管理について/周術期における薬物療法の注意点 (対面開催日2024.1.17、E-learning 2024.2.7-2024.3.31)</p> <p>対面及びオンライン配信にて実施 患者からの相談・苦情への対応技術 (開催日2023.11.17)</p> <p>その他、新規採用者研修「リスクマネジメントについて」 (4月に開催。その後は随時)</p>	

医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施
状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

事故報告等の分析結果を現場へフィードバック
医療従事者の医療事故防止に関する教育
事故防止のための基礎知識の提供
事故報告書等から必要なマニュアルを作成
インシデントサマリーに再発防止策を提案
事故防止マニュアルの見直し
GRM等による医療現場のラウンド
院内の医療安全ニュースや啓発ポスターの配布
院外の事故情報の提供による注意喚起

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的な考え 2. 院内感染対策のための委員会に関する基本的事項 3. 院内のすべての従事者に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 抗菌薬の適正使用に関する基本方針 8. 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針 	
院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： 1. 院内感染予防の方策及び監視に関すること 2. 院内感染対策のガイドラインの策定及びその実施に関すること 3. 院内感染についての教育活動に関すること 4. 院内感染の調査に関すること 5. 感染制御部の運営に必要な事項に関すること 6. その他院内感染に関して委員会が必要と認める事項 	
従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： E - learningにて実施 感染対策の基本（2023.6.28-2024.3.31） 経口抗菌薬の適正使用（2024.1.26-2024.3.31） 対面及びE - learningにて実施 HIV/AIDSの基礎知識（対面開催日2023.10.20、E - learning 2023.11.16-2024.3.31） 褥瘡対策研修（経口抗菌薬に関する基本的な知識） （対面開催日2023.12.21、E - learning 2024.1.24-2024.3.31） その他、新規採用者研修「感染対策の基本」 （4月に開催。その後は随時） 	
感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 院内感染対策マニュアルの整備及び定期的な改訂と従業者への周知 2. 全職員を対象とした院内感染対策および抗菌薬適正使用に関する研修の実施 3. 保健所及び医師会や地域の保険医療機関と合同での定期的な院内感染対策に関するカンファレンスの開催及び新興感染症の発生を想定とした訓練の実施 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
<p>・ 研修の主な内容： 令和5年度実施 医療安全研修（医薬品安全管理研修 対面開催日2024.1.17、E-learning 2024.2.7-2024.3.31） 本院の毒薬・劇薬 毒物・劇物の管理について/周術期における薬物療法の注意点</p>	
<p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p>	
<p>・ 手順書の作成 （有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 1）医薬品の採用 2）医薬品情報の収集・管理・提供 3）医薬品の購入管理 4）外来および入院患者への医薬品の供給 5）病棟における医薬品の管理 6）入院患者への医薬品使用 7）ハイリスク薬の取り扱い 8）院内製剤の取り扱い 9）外来患者への情報提供と薬学的指導 10）外来・中央診療施設の薬品管理 11）放射性医薬品の安全管理・安全使用</p>	
<p>医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p>	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 消化管移植片対宿主病（GVHD）に対する経口ペクロメタゾンの使用 （院内高難度新規医療技術等評価委員会にて審議・承認）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>未承認等の医薬品の使用の情報については調剤担当薬剤師や病棟担当薬剤師が処方鑑査で把握する。把握した内容を副薬剤部長が集約し、医薬品安全管理責任者（薬剤部長）に適宜報告するとともに、根拠資料（ガイドライン、文献等）を集積・保管する。</p> <p>未承認等の医薬品および採用されている医薬品全般の情報については、医薬品情報管理担当薬剤師が添付文書の他、医薬品製造販売業者、行政機関、学術誌等から収集・管理し、必要なものについては当該医薬品を取り扱う医療スタッフに周知する。</p> <p>医薬品安全管理責任者は、院内各部署に置く医薬品安全管理主任者（リスクマネージャーが兼務）の立ち会いの下に定期的に院内ラウンドを実施し、医薬品安全使用のための業務の実施状況を確認する。改善が必要と認められる事案についてはこれを指示し、結果を医療安全管理委員会に報告する。また未承認等医薬品の情報等をふまえ、必要に応じて診療科等に注意喚起情報を周知する。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療機器安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 9 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>有効性、安全性に関する事項、使用方法、保守点検に関する事項、不具合等が発生した場合の対応使用に関して特に法令上遵守すべき事項</p>	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>外観チェック、動作チェック、漏れ電流チェック、精度管理、バッテリー性能チェック</p>	
医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)：無</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>定期点検時の点検項目や方法の見直し</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

医療安全管理責任者の配置状況	(有)・無								
<ul style="list-style-type: none"> ・責任者の資格 (医師) 歯科医師) ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 副病院長(医療安全担当)が医療安全管理責任者として、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。 									
専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (6名) ・無								
<p>医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品情報管理担当者がPMDA メディナビやメーカーからの情報、文献、新聞等から収集、整理し、緊急度や周知すべき対象等に応じて、院内メールや印刷物の配布を行う。電子カルテシステム内の医薬品情報 web 検索システムや院内業務支援ページより閲覧が可能。また病棟担当者等による病棟勉強会や、院内の医薬品安全管理研修会での周知も定期的に行っている。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 病棟担当および調剤担当の薬剤師が処方鑑査で、また薬剤師が常駐していない診療科等においてはリスクマネジャーが未承認等の医薬品の処方を把握している。対応内容は、担当副薬剤部長に集約し、薬剤部長(医薬品安全管理責任者)に適宜報告するとともに、エクセルファイルと根拠資料(ガイドラインや文献)をファイリングして、事例を集積している。また併用禁忌薬については医薬品情報管理担当者が部門システムを用いて定期的にはリストアップし薬剤部長に報告している。今後は、電子カルテにJAPIC データベースを搭載し、病名からもチェックが可能なシステムを準備中である。 ・担当者の指名の有無 (有) ・無) ・担当者の所属・職種：別紙のとおり <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(所属： 、 職種)</td> <td style="width: 50%;">(所属： 、 職種)</td> </tr> <tr> <td>(所属： 、 職種)</td> <td>(所属： 、 職種)</td> </tr> <tr> <td>(所属： 、 職種)</td> <td>(所属： 、 職種)</td> </tr> <tr> <td>(所属： 、 職種)</td> <td>(所属： 、 職種)</td> </tr> </table>		(所属： 、 職種)	(所属： 、 職種)	(所属： 、 職種)	(所属： 、 職種)	(所属： 、 職種)	(所属： 、 職種)	(所属： 、 職種)	(所属： 、 職種)
(所属： 、 職種)	(所属： 、 職種)								
(所属： 、 職種)	(所属： 、 職種)								
(所属： 、 職種)	(所属： 、 職種)								
(所属： 、 職種)	(所属： 、 職種)								
医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有) ・無								
<ul style="list-style-type: none"> ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ((有) ・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： 医療安全管理者等による IC 監査を実施した。(年3回) 主な指導内容： 標準テンプレートを用いた IC 文書の登録を行うこと インフォームドコンセントの概要を電子カルテに記録すること 									

診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 各診療科の監査担当医が実施した診療録監査、インフォームドコンセント監査の結果をもとに、診療録等の管理責任者が記載状況及び内容の確認を行った。（年6回） 主な指導内容：インフォームドコンセント実施時、日時や場所、同席者などの概要を経過記録へ記載。</p>	
医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（5）名、専任（2）名、兼任（12）名 うち医師：専従（1）名、専任（2）名、兼任（4）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（4）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策の企画・立案及び業務改善計画に関すること。 (2) 医療安全管理マニュアルの作成等に関すること。 (3) 安全管理のための教育及び研修の企画・運営に関すること。 (4) インシデント報告及び患者の死亡若しくは死産報告の調査・分析に関すること。 (5) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。 (6) 医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認・指導に関すること。 (7) 患者及び家族等への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認・指導に関すること。 (8) 医療事故等に係る原因究明の確認及び指導に関すること。 (9) 金沢大学附属病院医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成、保存その他当該委員会の事務に関すること。 (10) その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策に関すること。 <p>【モニタリングの具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者に対する肺血栓塞栓症リスク評価と予防策の実施率 ・注射薬投与時のPDA認証の実施率 ・RRTコール報告 ・病理診断レポートの未読/既読状況 ・画像診断レポートの未読/既読状況 <p>平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（7件）</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。 (2) 高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。 (3) その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。 <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）</p>	

<p>未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（1件） ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。 (2) 高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。 (3) その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）
<p>入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 207 件 ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 3,620 件 ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療に係る安全管理対策に関すること。 (2) 医療事故防止対策に関すること。 (3) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。 (4) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。 (5) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。 (6) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。 (7) 安全管理のための教育及び研修に関すること。 (8) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。 (9) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う。
<p>他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="radio"/>有 病院名：群馬大学医学部附属病院）・無） ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="radio"/>有 病院名：奈良県立医科大学附属病院）・無） ・技術的助言の実施状況 <p>医療安全管理委員会の議事に関する監査について、今後は重大事案の検証や医薬品安全管理、医療機器安全管理についても監査を受けるのが望ましいとの助言を受け、令和6年4月18日開催の医療安全管理委員会では、重大事案の検証や医薬品安全管理、医療機器安全管理について議論している。</p>
<p>当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・体制の確保状況 <p>患者相談室においてGRM、事務職員が相談窓口となり対応している。窓口活動については院内にポスターを掲示しパンフレットを配置するとともに、ホームページに掲載している。</p>

職員研修の実施状況

・研修の実施状況

「医療安全管理マニュアル改訂のポイント 2023」

(対面開催日 2023.10.11、E-learning 2023.10.19-2024.3.31)

【項目】

医療安全管理マニュアル、外国人に対する説明・同意文書、医療スタッフマニュアル、インスリン自己注射の患者間違い、転倒転落、RRT、DNAR、報告書管理体制加算、レポート未読対策、インシデントレポート、胃ろうチューブの誤廃棄、診察券の誤返却、医療安全活動アワード2023

(注) 前年度の実績を記載すること (の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

公益財団法人日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修に管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全責任者及び医療機器安全管理責任者が参加した。

(注) 前年度の実績を記載すること

医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価「一般病院3 (3rdG:Ver.2.0)」を受審。認定承認されている。

(認定期間 2020年7月25日 ~ 2025年7月24日)

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

病院WEBサイトに公開している。

・評価を踏まえ講じた措置

2023年3月の再審査で改善の取り組みが一定の水準に達していると判断され、認定された。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 人格が高潔で、学識が優れている者 2. 医師免許を有している者 3. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 4. 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 5. 金沢大学附属病院の基本理念及び基本方針を確実に遂行できる者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ 公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトに掲載
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ 公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトに掲載 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	特別の関係
大竹 茂樹	金沢大学 理事(附属病院担当)		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第1号に基づく学長が指名する理事	<input checked="" type="radio"/> 有・無
堀 修	金沢大学医薬保健研究域長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第2号に基づく役職指定	<input checked="" type="radio"/> 有・無
絹谷 清剛	金沢大学医薬保健学総合研究科長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第3号に基づく役職指定	<input checked="" type="radio"/> 有・無
田嶋 敦	金沢大学先進予防医学研究科長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第4号に基づく役職指定	<input checked="" type="radio"/> 有・無

杉山 和久	金沢大学医薬保健研究域医学系長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第5号に基づく役職指定	有・無
加藤 将夫	金沢大学医薬保健研究域薬学系長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第6号に基づく役職指定	有・無
宮地 利明	金沢大学医薬保健研究域保健学系長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第7号に基づく役職指定	有・無
高村 雅之	金沢大学附属病院循環器内科長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第8号に基づく病院運営会議から選出された診療科長	有・無
稲木 紀幸	金沢大学附属病院消化管外科長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第8号に基づく病院運営会議から選出された診療科長	有・無
谷口 巧	金沢大学附属病院手術部長、集中治療部長、麻酔部長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第9号に基づく病院運営会議から選出された中央診療施設等の長	有・無
辻 千芽	金沢大学附属病院看護部長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第10号に基づく役職指定	有・無
北村久美子	金沢大学病院部長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第11号に基づく役職指定	有・無
安田 健二	石川県医師会会長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第12号に基づく有識者	有・無
鍛冶 恭介	金沢市医師会会長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第12号に基づく有識者	有・無
岡田 俊英	石川県立中央病院長		金沢大学附属病院長候補者選考委員会規程第3条第1項第12号に基づく有識者	有・無

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有) 無	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 中期目標・中期計画に関する事項 2. 規程の制定又は改廃に関する事項 3. 予算及び執行並びに決算に関する事項 4. 自ら行う点検及び評価に関する事項 5. その他管理運営に関する重要事項 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 <p style="margin-left: 20px;">金沢大学附属病院運営会議と合同開催する金沢大学附属病院医局長会議において、各診療科の医局長や各中央診療施設等の代表者に審議内容を共有 金沢大学附属病院の職員が閲覧できる院内専用サイトに議事要旨を掲載し周知</p> ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無 ((有) 無) ・ 公表の方法 <p style="margin-left: 20px;">金沢大学附属病院Webサイトに掲載</p> ・ 外部有識者からの意見聴取の有無 (有 (無)) 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (を付す)	職種	役職
吉崎 智一		医師	病院長、臨床開発部長
山下 太郎		医師	消化器内科長、患者サポートセンター長、肝臓センター長、小児・成人炎症性腸疾患センター長、疾病予防センター長
篁 俊成		医師	内分泌・代謝内科長、糖尿病センター長、内分泌センター長
岩田 恭宜		医師	腎臓・リウマチ膠原病内科長
矢野 聖二		医師	呼吸器内科長
高村 雅之		医師	循環器内科長、ハートセンター長、脳卒中・心臓病等総合支援センター長
宮本 敏浩		医師	血液内科長、輸血部長、造血・免疫細胞療法センター長
谷口 博昭		医師	腫瘍内科長、がんセンター長
野村 英樹		医師	総合診療科長、総合診療部長
小野 賢二郎		医師	脳神経内科長
菊知 充		医師	神経科精神科長、子どものこころの診療科長

和田 泰三		医師	小児科長、周産母子センター長
小林 聡		医師	放射線科長、放射線部長
高松 繁行		医師	放射線治療科長
松下 貴史		医師	皮膚科長
小室 明人		医師	形成外科長
竹村 博文		医師	心臓血管外科長
松本 勲		医師	呼吸器外科長、材料部長
稲木 紀幸		医師	消化管外科長、金大病院C P Dセンター長
八木 真太郎		医師	肝胆膵・移植外科長、手術部長、臓器移植センター長、プレコンセプションケアセンター長
寺川 裕史		医師	乳腺外科長
酒井 清祥		医師	小児外科長
出村 諭		医師	整形外科長、脊椎・脊髄外科長
溝上 敦		医師	泌尿器科長
東出 朋巳		医師	眼科長
杉本 寿史		医師	耳鼻咽喉科・頭頸部外科長
山崎 玲奈		医師	産科婦人科長
谷口 巧		医師	麻酔科蘇生科長、集中治療部長、麻酔部長、M E 機器管理センター長
中田 光俊		医師	脳神経外科長、脳卒中センター長
絹谷 清剛		医師	核医学診療科長、アイソトープ部長
川尻 秀一		歯科医師	歯科口腔外科長
八幡 徹太郎		医師	リハビリテーション科長、リハビリテーション部長
岡島 正樹		医師	救急科長、救急部長、研修医・専門医総合教育センター長
池田 博子		医師	病理診断科長、病理部長
金森 肇		医師	感染症科長、検査部長、感染制御部長
坂井 宣彦		医師	血液浄化療法部長
鷹取 元		医師	内視鏡センター長
薄井 莊一郎		医師	冠動脈疾患治療部長
渡邊 淳		医師	遺伝診療部長、遺伝医療支援センター長
山崎 宏人		医師	医療安全管理部長
森山 秀樹		医師	栄養管理部長
大坪 公士郎		医師	外来化学療法センター長
水腰 英四郎		医師	先端医療開発センター長
山田 圭輔		医師	緩和ケアセンター長
竹内 伸司		医師	がんゲノム医療センター長
川島 博子		医師	乳腺センター長
佐野 滋彦		医師	摂食障害支援センター長
崔 吉道		薬剤師	薬剤部長
辻 千芽		看護師	看護部長
長瀬 啓介		医師	経営企画部長
北村 久美子		事務職員	病院部長
大江 宏康		臨床検査技師	検査部臨床検査技師長
村田 明		医師	ハートセンター 特任教授

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)
- ・ 公表の方法
金沢大学附属病院Webサイトに掲載
- ・ 規程の主な内容
病院長は本院を代表し、本院の経営及び管理運営等の業務を総括するとともに、職員等を指揮監督する。
病院長の任務は次のとおりとする。
 - (1) 本院の運営、管理及び経営に関すること。
 - (2) 診療部門長、診療科長、中央診療施設の長等の任命に関すること。
 - (3) 診療科及び各中央診療施設等への人員配置に関すること。
 - (4) 病院内組織の設置、廃止及び統合に関すること。
 - (5) 病床、診察室等の配分及び利用形態に関すること。
 - (6) 予算の院内配分に関すること。
- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割
副病院長は、病院長の職務を補佐する。病院長が不在のときは、あらかじめ病院長が指名した副病院長が、その職務を代行する。
副病院長は、医療安全、広報・地域医療連携、診療・経営、総務・人事、臨床教育、研究、看護のほか病院長が特に必要と認めた職務を担当する。
病院長補佐は、病院長の指示する重要事項について、病院長を補佐する。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - 【人事】
 - ・ 病院長は、運営会議の構成員のうちから副病院長を指名する。
 - ・ 病院長補佐は、金沢大学の職員から、病院長が任命する。
 - 【研修】
 - ・ 日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修を病院長、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が受講 (新任者は受講予定) している。
 - ・ 厚生労働省委託事業のトップマネジメント研修に病院長が参加している。
 - ・ 国立大学病院長会議主催の病院長塾に副病院長2名が参加している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理責任者，医療安全管理部門，医療安全管理委員会，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者等の業務の状況について附属病院長(以下「病院長」という。)等から報告を求め，又は必要に応じて自ら確認を実施すること。 (2) 必要に応じ，学長又は病院長に対し，医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。 (3) 前2号に掲げる業務について，その結果を公表すること。 (4) その他医療に係る安全管理の監査に関し必要な事項 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有・無) ・ 委員名簿の公表の有無 (有・無) ・ 委員の選定理由の公表の有無 (有・無) ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (有・無) ・ 公表の方法：本院のWebサイトに掲載している。 					
監査委員会の委員名簿及び選定理由(注)					
氏名	所属	委員長 (を付 す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
森岡 浩一	福井大学医学 部附属病院		医療安全管理部長として医療安全に関する業務に従事しているため	有・無	1
麻生 小夜	金沢あおば法 律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	有・無	1
和田 真由 美	血液疾患の患 者の会「萌の 会」		「萌の会」の代表として活動し、医療を受ける立場から意見を述べる事ができるため	有・無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
金沢大学内部監査において業務監査及び会計監査を定期的を実施しており、附属病院も対象となっている。
- ・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)
- ・ 公表の方法
金沢大学附属病院Webサイトに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 金沢大学経営協議会において、法人の経営に関する重要事項、予算の作成・執行及び決算に関する事項、組織及び運営の状況について自ら行う点検・評価に関する事項等を審議している。病院担当理事及び病院長が構成員となっているほか、病院長から病院の運営状況について説明している。 ・ 会議体の実施状況（ 年7回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ）（ 年7回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ） ・ 公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトに掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人金沢大学経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (付す)	利害関係
有松 育子	博報堂 DY ホールディングス 社外取締役 元 国立教育政策研究所 所長 元 文部科学省生涯学習政策局長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
大橋 徹二	コマツ取締役会長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
河田 悌一	関西大学 東京センター長 元 日本私立学校振興・共済事業団 理事長 元 関西大学 学長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
後藤 ひとみ	北海道教育大学 理事（非常勤） 前 愛知教育大学 学長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
里見 進	日本学術振興会 顧問 元 東北大学総長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
新保 博之	金沢市副市長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
武田 泉穂	MVP 株式会社 代表取締役		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
徳田 博	石川県副知事		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
原田 明久	ファイザー株式会社 代表取締役社長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社 参与		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
渡辺 芳人	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 分子科学研究所 所長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
和田 隆志	金沢大学学長		<input checked="" type="radio"/> 有・無
森本 章治	金沢大学理事（総括・大学改革・教育・情報担当）		<input checked="" type="radio"/> 有・無
滝波 泰	金沢大学理事（総務・財務・施設担当）		<input checked="" type="radio"/> 有・無
山岸 雅子	金沢大学理事（ダイバーシティ経営担当）		<input checked="" type="radio"/> 有・無
飯山 宏一	金沢大学融合研究域長		<input checked="" type="radio"/> 有・無
山本 卓	金沢大学人間社会研究域長		<input checked="" type="radio"/> 有・無
松本 宏一	金沢大学理工研究域長		<input checked="" type="radio"/> 有・無
堀 修	金沢大学医薬保健研究域長		<input checked="" type="radio"/> 有・無
吉崎 智一	金沢大学附属病院長		<input checked="" type="radio"/> 有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 1 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none">全職員へメールによる周知。電子カルテの掲示板掲載による周知。金沢大学附属病院業務支援システムに規程を掲載。医療安全研修による周知。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類(任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>金沢大学附属病院Webサイトにて病院の基本理念、基本方針、各診療科の案内、統計データ等の情報発信を行っている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>診療間の連携をスムーズに推進するため、センター、チームを設置している。</p> <p>(ハ トセンター、小児・成人炎症性腸疾患センター、緩和ケアセンター、造血・免疫細胞療法センター、糖尿病センター、内分泌センター、がんゲノム医療センター、乳腺センター、遺伝医療支援センター、臓器移植センター、プレコンセプションケアセンター、脳卒中センター、脳卒中・心臓病等総合支援センター、糖尿病透析予防チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、ICU早期離床・リハビリテーションチームなど)</p>	